

Microsoft.MB-820.v2024-09-07.q44

試験コード:	MB-820
試験名称:	Microsoft Dynamics 365 Business Central Developer
認定資格:	Microsoft
無料問題数:	44
バージョン:	v2024-09-07
アクセス数:	236
ページビュー数:	440
https://www.jpnpdf.com/Microsoft.MB-820.v2024-09-07.q44-mondaishu.html	

最新問題: 1

ある会社が Business Central を使用しています。

同社は拡張機能で翻訳ファイルを使用する予定です。拡張機能には翻訳すべきでないキャプションが含まれています。

キャプションが翻訳されないようにする必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. CaptionML プロパティを使用して、使用する言語ごとに同じキャプションをコピーします。
- B. appjson ファイルで GenerateLockedTranslations 機能を設定します。
- C. キャプションに Locked = true パラメータを追加します。
- D. キャプションプロパティを削除します。
- E. 翻訳ファイル内の各言語に同じキャプションをコピーします。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

Microsoft Dynamics 365 Business Central の拡張機能でキャプションが翻訳されないようにするには、Caption (C) に Locked = true パラメーターを追加する必要があります。このパラメーターは、キャプションが翻訳用にロックされていることを明示的にマークし、拡張機能の異なる言語バージョン間で変更されないようにします。この方法は、ユーザーの言語設定に関係なく一貫性を保つ必要があるアプリケーション内の特定の用語、ブランド名、またはその他の要素に役立ちます。翻訳ファイルまたはプロパティを手動で操作する他のオプションとは異なり、AL コードで直接 Locked = true を設定すると、明確で保守しやすく、エラーのない方法で特定のキャプションを翻訳プロセスから除外できます。

最新問題: 2

ドラッグアンドドロップの質問

ある企業が Business Central を導入しています。

テナントごとの拡張では、TableA ヘッダーと TableA 行はドキュメント テーブルであり、TableB ヘッダーと TableB 行はドキュメント履歴テーブルです。

会社では、クエリ オブジェクトの結果のデータセットに次のレコードが含まれていることを要求しています。

- 一致するレコード値がない場合でも、TableA ヘッダーのすべてのレコード
リンクされた表A行に存在する

- TableBヘッダーのレコードのうち、リンクされたレコードに一致するものが見つかったもの
表B 行フィールド

- 必要なデータを生成するには、リンクされたデータ項目を構成する必要があります。
データセット。

どの SqlJoinType を使用すればよいでしょうか。答えは、適切な SqlJoinType を正しいデータ
セット要件に移動します。各 SqlJoinType は 1 回、複数回、またはまったく使用しないこともでき
ます。

コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーを移動したり、スクロールしたりする必要があ
る場合があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

SqlJoinTypes

CrossJoin

InnerJoin

LeftOuterJoin

RightOuterJoin

Link data items

Dataset requirement

Include all records from TableA Header.

Include only matched records from TableB Header.

SqlJoinType

Answer:

SqlJoinTypes

CrossJoin

InnerJoin

LeftOuterJoin

RightOuterJoin

Link data items

Dataset requirement

Include all records from TableA Header.

Include only matched records from TableB Header.

SqlJoinType

LeftOuterJoin

最新問題: 3

Business Central レポートを作成します。

次回レポートを実行するときに保存するには、リクエスト ページに値を入力する必要があります。

何をすべきでしょうか？

A. Transact! on Type プロパティを Update に設定します。

B. Savevalues 変数を宣言し、OnOpenPage() トリガーで true に割り当てます。

C. リクエスト ページの使用プロパティを true に設定します。

D. SaveValues プロパティを true に設定します。

Answer: D ([メッセージを残す](#))

Business Central レポートの [要求] ページで挿入された値が、次回レポートを実行するときに保存されるようにするには、SaveValues プロパティ (D) を true に設定する必要があります。このプロパティはレポートの [要求] ページで使用可能で、true に設定すると、システムがユーザーが入力した値を記憶できるため、レポートを実行するたびに値を再入力する必要がなくなります。この機能により、繰り返しのデータ入力が減り、複数の実行にわたってレポートパラメーターの一貫性が確保されるため、ユーザーエクスペリエンスが向上します。トランザクションタイププロパティを更新に設定する (A) や、OnOpenPage トリガーで Savevalues 変数を宣言する (B) などの他のオプションは、レポートの [要求] ページでのユーザー入力の保存とは直接関係ありません。

最新問題: 4

ある企業は、失敗した顧客明細メールのトレースを送信するために、カスタム テレメトリ トレース信号を設定しています。

```
05 local procedure SendTraceOnFailedToEmailCustomerStatement(Customer: Record Customer)
06 var
07     Dimensions: Dictionary of [Text, Text];
08     FailedEmailLbl: Label 'Failed to email customer statement';
09 begin
10     Dimensions.Add('systemId', Customer.SystemId);
11     Session.LogMessage('FCUSTSTMT', FailedEmailLbl, Verbosity::Error,
12     DataClassification::SystemMetadata, TelemetryScope::ExtensionPublisher, Dimensions);
13 end;
```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

Telemetry trace statements	Statement	Yes	No
	The telemetry trace sends custom signals to an Application Insights resource specified in the extension's app.json file and on the tenant.	☐	☐
	Dictionary keys for the extension name and version must be specified to identify the extension during analysis.	☐	☐
	The telemetry trace sends events to Application Insights resources set up on the tenant.	☐	☐

Answer:

Telemetry trace statements	Statement	Yes	No
	The telemetry trace sends custom signals to an Application Insights resource specified in the extension's app.json file and on the tenant.	☒	☐
	Dictionary keys for the extension name and version must be specified to identify the extension during analysis.	☒	☐
	The telemetry trace sends events to Application Insights resources set up on the tenant.	☒	☐

最新問題: 5

Business Central 開発では列挙型はどのように使用されますか？

- A. 名前付き定数のセットを定義する
- B. データベースからのデータ取得を最適化する
- C. 計算用の複雑なデータ型を作成する
- D. コード内の例外やエラーを処理する

Answer: A ([メッセージを残す](#))

最新問題: 6

アプリで新しく開発された機能をテストするために、単体テスト関数を記述する予定です。

関数を記述するには、テスト コードユニットを作成する必要があります。

テスト コードユニットに使用するプロパティを選択する必要があります。

要件が満たされていることを確認するには、どのプロパティを使用する必要がありますか？

- A. サブタイプ
- B. アクセス
- C. 説明

Answer: A ([メッセージを残す](#))

Microsoft Dynamics 365 Business Central でテスト コードユニットを作成して単体テスト関数を記述する場合、コードユニットの SubType プロパティ (A) を Test に設定する必要があります。このプロパティは、コードユニットの目的とアプリケーション内での動作を定義するために重要です。SubType プロパティを Test に設定することで、カスタマイズや新規開発など、アプリケーションの他の部分の機能を検証するためのテスト関数がコードユニットに含まれていることを示します。この区別により、Business Central 内のテスト フレームワークはコードユニットをテスト関数のコンテナとして認識し、テスト コンテキストでこれらの関数を実行できるようになります。テスト コンテキストには、テスト データの設定、テストの実行、テスト完了後のクリーンアップなどが含まれます。

最新問題: 7

PageType プロパティを RoleCenter に設定してページを作成します。

ページのさまざまなセクションを移動します。

ページに機能を追加する必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. エリア内のアクション(作成)の前に、エリア内のアクション(レポート)を定義します。
- B. 領域内のナビゲーションメニューを定義します(処理中)。
- C. 領域内にナビゲーションバーを定義します(埋め込み)。
- D. ロール センター ページにソース テーブルを追加します。

Answer: C ([メッセージを残す](#))

Microsoft Dynamics 365 Business Central で PageType プロパティを RoleCenter に設定してページを作成する場合、ユーザー エクスペリエンスと効率性を向上させる方法で機能とアクションを整理することが重要です。ベスト プラクティスは、領域 (レポート) のアクションを領域 (作成) のアクションの前に定義することです (A)。この構成により、ユーザーは、作成またはトランザクション タスクに進む前に、概要と洞察の目的でロール センターでよく使用されるレポート機能

と分析機能にすばやくアクセスできます。この論理フローは、分析とレビューが新しいレコードまたはトランザクションの作成に先行する一般的なユーザー ワークフローと一致しています。領域 (処理) でのナビゲーション メニューの定義 (B)、領域 (埋め込み) でのナビゲーション バーの定義 (C)、またはロール センター ページでのソース テーブルの追加 (D) などの他のオプションは、ユーザー フレンドリな方法でロール センター ページに機能を追加する必要性に直接対応していません。

最新問題: 8

ケーススタディ 1 - Contoso 社

背景

Contoso 社は製造業の販売会社です。複数の国/地域に子会社があり、それぞれが独自のローカライズを行っています。子会社は互いにデータ独立している必要があります。Contoso 社は、外部のビジネス パートナーを利用して、一部の製造品目の下請けを管理しています。Contoso 社にはさまざまな部門があり、部門間でデータ セキュリティが必要です。

現在の環境

Contoso 社では、財務、販売、購買、倉庫、製造プロセスの主要な ERP として Business Central online を使用しています。同社には、Business Central Web アプリケーションと外部アプリケーションを使用する従業員がいます。同社では、カスタムの外部モバイル アプリを開発中です。IT 部門とそのパートナーは、機能がネイティブで利用できない会社の要件を満たすためにカスタム拡張機能をインストールしました。

Contoso, Ltd. は、顧客やパートナーが提供する外部サービスとやり取りします。さまざまなアプリケーションが、Business Central から公開される SOAP および OData エンドポイントとやり取りします。

Contoso 社の外部ビジネス パートナーは、新しい下請け注文の詳細を受信し、受信した各下請け注文の予定リリース日を送信するための REST API を公開しました。

Contoso, Ltd. はテナントの監視を有効化しておらず、アプリの内部テレメトリがありません。さまざまな部門の要件を満たすためにカスタム レポートを作成する必要があります。

テナント管理

Contoso, Ltd. には、次のテナント管理の考慮事項があります。

IT部門

IT 部門には、パフォーマンスの問題を防ぎ、起こりうる異常を検出するためにテナントを監視する機能が必要です。

IT 部門は、Azure Application Insights と Log Analytics を使用して、取り込まれたテレメトリ信号を検査する予定です。

すべてのテナントのアップグレードは、Microsoft によって自動的に処理されます。IT 部門は、更新プログラムの可用性やテナント関連の通知をチェックしません。

IT 部門は、Business Central 管理センターからのテナント関連通知の受信を構成していません。

外部ビジネスパートナー

外部ビジネス パートナーは、ビジネス プロセスを監視するために、Contoso, Ltd. 用に作成されたアプリケーションにカスタム テレメトリを追加する必要があります。

アプリケーションのカスタム テレメトリ信号は、パートナーのテレメトリでのみ表示される必要があります。

石 鯨

Contoso 社は、統合に SOAP プロトコルを使用しないことを計画しています。

Contoso 社は、外部アプリケーションが Business Central SOAP エンドポイントを使用しているかどうかを検出できる必要があります。

問題

Business Central テナントは、夜間に Microsoft によって新しいメジャー バージョンにアップグレードされます。

ユーザーから、Contoso, Ltd. の拡張機能の 1 つがテナントから消えたという報告がありました。IT 部門は、拡張機能がまだ公開されていることを確認しました。

カスタムモバイルアプリケーションの要件

Contoso 社は、次の要件を満たすカスタム モバイル アプリケーションを作成する予定です。

従業員は、ERP からアイテムの詳細をリアルタイムで確認し、製造プロセス中に発生した問題を報告するために、このアプリを使用する必要があります。

アーカイブされた問題进行处理するには、AL 拡張機能を作成する必要があります。

モジュールを実装するときは、Business Central 開発ガイドラインに従う必要があります。

問題情報の報告と追跡を行うためのモジュールを実装する必要があります。このモジュールを Issue Management と呼ぶことにします。モジュールは PostIssue というメソッドを公開する必要があります。

時間の経過とともにコードの変更が必要になります。

問題管理プロセスは、次の 2 つの拡張機能に分割する必要があります。

問題ベース: メイン拡張

ISSUE EXT: ISSUE BASE からの依存関係を持つ 2 番目の拡張

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、IssueTotal という名前のグローバル Decimal 変数を含む Issue テーブルを作成する予定です。

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、次のように定義された説明フィールドを持つ Issue Category という名前のテーブルを定義する予定です。

```
field(2; Description; Text[50])
{
    DataClassification = CustomerContent;
}
```

ISSUE BASE 拡張機能で定義された Issue テーブルには、次のように定義された Clone プロシージャが含まれています。

```
procedure Clone()
begin
end;
```

ISSUE EXT 拡張では、Issue テーブルの tableextension オブジェクトを作成します。

Issue テーブルの tableextension オブジェクトは、IssueTotal: Decimal 変数にアクセスする必要があります。

数週間使用した後、説明フィールドとクローン手順は不要になったため削除する必要があることがわかりました。

ISSUE BASE 拡張機能の新しいバージョンでは、新しい Issue Type テーブルを作成します。以前の古い Issue Category テーブルから新しい Issue Type テーブルにデータを 1 行ずつ移動する必要があります。大量のデータを移動する必要があるため、DataTransfer オブジェクトを使用して Upgrade コードユニットを記述する必要があります。

IT 部門は、カスタムの問題テーブルを公開するためのカスタム API を作成します。API は、問題を新しいテーブルにコピーするためのアクションを提供します。アクションは次のように定義されます。

```
[ServiceEnabled]
procedure Copy(var actionContext: WebServiceActionContext)
begin
end;
```

Contoso, Ltd. は、アイテムの詳細をモバイル アプリケーションに公開するために、Business Central で API を作成する必要があります。

API は、業務時間中に使用される場合、本番環境への影響を最小限に抑える必要があります。

API は Get 操作のみをサポートする必要があります。

問題のデバッグ

Business Central の ISSUE BASE 拡張機能のユーザーが問題を報告します。

この問題をデバッグするために、次の構成のスナップショット デバッグが有効化されました。



デバッグがトリガーされていないことがわかります。

下請け業務におけるビジネスパートナーとの統合

Contoso, Ltd. は、ビジネス パートナーが提供する外部 API に Business Central を接続する必要があります。これは、パートナーが販売需要を満たすために新しい下請け注文の詳細を送信したり、送信された各注文の予定リリース日を受信したりするために使用されます。統合の要件は次のとおりです。

ビジネス パートナーは、基本認証で保護された REST API を提供します。API にアクセスするための資格情報は Contoso, Ltd. と共有されます。

下請け注文を送信するための API は、指定されたエンドポイントに認証された POST リクエストを送信することによって呼び出す必要があります。

各下請け注文の注文番号と予定リリース日を取得するための API は、次の JSON で応答します。

```
{  
  "status": "OK",  
  "num_results": 110,  
  "results": [  
    {  
      "order_no": "SB0230034",  
      "customer_name": "Contoso Ltd.",  
      "planned_release_date": "2023-12-13",  
      "updated_date": "2023-10-20"  
    }  
  ]  
}
```

各注文番号を取得する必要があります。

過去 7 日間にテナント内で不要な Web サービス呼び出しがあったかどうかを確認する必要があります。

どの 2 つの KQL クエリを使用する必要がありますか？それぞれの正解は完全なソリューションを示します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

A.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has  
'RT0008' | where customDimensions.category !in ('ODataV4', 'ODataV3',  
'Api')
```

B.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has  
'RT0008' | where customDimensions.category == 'SOAP'
```

C.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions ==  
'RT0008' | where customDimensions.category == 'SOAP'
```

D.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has  
'RT0008' | where customDimensions.category != 'ODataV4'
```

E.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has  
'RT0008' | where customDimensions.category !in ('ODataV4', 'Api')
```

Answer: A,C (メッセージを残す)

タスクは、過去 7 日間に受信した不要な Web サービス呼び出しを特定することです。これを行うには、タイムスタンプ (呼び出しが過去 7 日間以内であることを保証) と、不適切な種類のプロトコル (この場合は Contoso Ltd. が使用しない予定の SOAP) などの不要な呼び出しであることを示す特定の特性に基づいて Web サービス呼び出しをフィルター処理する KQL (Kusto クエリ言語) クエリを確認する必要があります。

最新問題: 9

ホットスポットに関する質問

ある企業は、失敗した顧客明細メールのトレースを送信するために、カスタム テレメトリ トレース信号を設定しています。

```
05 local procedure SendTraceOnFailedToEmailCustomerStatement(Customer: Record Customer)  
06 var  
07     Dimensions: Dictionary of [Text, Text];  
08     FailedEmailLbl: Label 'Failed to email customer statement';  
09 begin  
10     Dimensions.Add('systemId', Customer.SystemId);  
11     Session.LogMessage('FCUSTSTMT', FailedEmailLbl, Verbosity::Error,  
12     DataClassification::SystemMetadata, TelemetryScope::ExtensionPublisher, Dimensions);  
13 end;
```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Telemetry trace statements		
Statement	Yes	No
The telemetry trace sends custom signals to an Application Insights resource specified in the extension's app.json file and on the tenant.	☐	☐
Dictionary keys for the extension name and version must be specified to identify the extension during analysis.	☐	☐
The telemetry trace sends events to Application Insights resources set up on the tenant.	☐	☐

Answer:

Telemetry trace statements		
Statement	Yes	No
The telemetry trace sends custom signals to an Application Insights resource specified in the extension's app.json file and on the tenant.	☒	☐
Dictionary keys for the extension name and version must be specified to identify the extension during analysis.	☒	☐
The telemetry trace sends events to Application Insights resources set up on the tenant.	☐	☒

最新問題: 10

ケーススタディ 2 - アルペンスキーハウス

会社概要

アルペンスキーハウスは、ホテル、レストラン、店舗を所有・運営する会社です。

現在、当社では以下のソフトウェアとインターフェースを使用しています。

- ホテルの客室を管理するためのプロパティ管理ソフトウェア (PMS)
- 売上請求書を生成し、発注書を作成するオンプレミス会計ソフトウェア
- レストランや店舗が必要な情報を取得できるようにする API レストランや店舗では、POS (販売時点管理) デバイス用のスタンドアロン ソフトウェアを使用しています。毎日、POS 端末は販売データのテキスト ファイルを生成し、そのファイルをサーバー フォルダーに保存します。アカウント アシスタントは、システムで処理できるように、そのファイルを現在のソフトウェア テーブルに手動でインポートする必要があります。

ゼネラルマネージャーは、部門マネージャーから毎月数件のレポートを受け取りますが、レポートの作成には時間がかかりすぎます。

計画された改善

同社は、会社全体を管理するために、別のシステムから Business Central Online に移行しています。

同社は、API を使用してさまざまなシステム間で情報を取得または共有することで、各部門の効率を向上させることを計画しています。

購買に関わる各部門は、購買リクエストを自動的かつ簡単に行える必要があります。各部門は ERP 管理システム全体にアクセスする必要はありません。

技術仕様

アルペンスキーハウスでは、計画されている改良のためにいくつかの拡張部分の開発が必要です。

すべての拡張機能を開発するには、Business Central 設計パターンを使用する必要があります。アルペンスキーハウスは次のページを開発する必要があります。

- 拡張機能を初めてインストールするときに必要な情報を提供するために、ウィザードのような複数のステップのダイアログで複数の構成を提供するページ
- 関連情報と追加情報を含むページを表示する部門固有のロール センター ページ IT 部門は、Power BI を使用して部門情報を分析する予定です。最適なパフォーマンスを提供するようにデータベースを構成する必要があります。

部門固有の要件

ハウスキーピング部門

ハウスキーピング部門では、効率を高め、データ入力エラーを回避するために、次のことが必要です。

- Business Centralオンラインの関連領域へのナビゲーションを最小限に抑え、関連情報を表示するハウスキーピングロールセンター
- ルームエンティティに関する追加情報を表示するために新しいルームページに埋め込むページ
- ハウスキーピングチームが客室の問題情報を入力するための「客室インシデント」というテーブル
- 拡張機能に接続するハウスキーピングキャンバスアプリ
- 部門では、RoomsAPI という新しい API ページを備えた拡張機能の開発が必要です。
- ハウスキーピング チームは RoomsAPI を使用して、部屋の詳細を公開したり、作業完了時に更新したり、キャンバス アプリから修理通知を提供したりします。
- このカスタム API ページは、Rooms という名前のカスタム テーブルを公開し、ID を 50000 にする必要があります。テーブルは PMS から更新できる必要があります。PMS チームは、カスタム API に接続するためのエンドポイントを認識している必要があります。
- 開発者は API ページに次の詳細を提供します。

```
APIPublisher = 'alpine';  
APIGroup = 'integration';  
APIVersion = 'v2.0';  
EntityName = 'room';  
EntitySetName = 'rooms';
```

- 拡張機能は Business Central オンラインで公開する必要があり、すべてのホテルの部屋を含む「部屋リスト」という名前のリスト ページを含める必要があります。
- この拡張機能のインストールまたは更新は、次の要件を満たす必要があります。
 - o 一部の Web サービスは自動的に公開する必要があります。
 - o 指定されたアプリケーションのメタデータのバージョンは、AL 言語で取得する必要があります。
 - o タスクを実行するために必要なコードは、アプリケーションの他の部分からアクセスできません。

部屋のインシデント テーブル情報には、次のフィールドが含まれている必要があります。

- インシデントエントリ: 増分番号
- 部屋番号: 部屋表の部屋
- 事故発生日: 作業日

o ルーム インシデント テーブルのテーブル定義では、ハウスキーピング チームが新しいレコードを挿入するときにインシデントの日付が自動入力される必要があります。o インシデントの日付の値は、Business Central オンライン クライアントで構成された作業日である必要があります。

- ステータス: インシデントのステータスを識別するための次のオプションが含まれます。
 - o オープン: ルームインシデントが作成されたとき
 - o 進行中: 誰かが修理作業を開始したとき

○ クローズ: インシデントが解決されたとき

- インシデント終了日: 自動更新フィールド (ステータスが「終了」になると、フィールドは作業日で更新されます)

- インシデントの説明: テキスト

- 画像: メディアデータタイプ

○ 保存された画像はメニューアクションからダウンロード可能である必要があります。

○ ダウンロード アクションを含むルーム インシデント ページを開発する必要があります。

部門固有の要件

レストランとショップ

- 効率を高めるために、新しいシステムでは、POS 端末の API を使用して、レストランや店舗から生成されたデータを直接管理する必要があります。

- 会社では、POS 端末 API から情報を読み取るために、ジョブ キューから呼び出されるコードユニットが必要です。

- POS端末情報はPOS情報というテーブルに保存され、IDを持つ必要があります。

50100、ページ上で編集可能。

- アカウント マネージャーには、プロセスを手動で実行するためのオプションがページのメニューに必要です。

- POS 端末から受信した情報を分析するには、次のものがが必要です。

- 情報をPower BIにエクスポートするためのticketAPIというカスタムAPI

- データベースのパフォーマンスを向上させるための読み取りスケールアウト機能の使用

部門固有の要件

購買部門と不適合処理

購買部門では、仕入先から受け取った商品の不適合を記録するために、Business Central オンラインで新しいエンティティが必要です。エンティティは次のように設定する必要があります。

- 不適合エンティティには 2 つのテーブルが必要です。

共通情報を含むoaヘッダー

○ 不適合な受領品目の詳細が記載された1行以上の行

- エンティティには、情報を保存するために、「不適合」という名前のページと「不適合行」という名前のサブページが必要です。

数量の誤りや品質の問題のある発注書を受け取った場合、企業はシステム内に不適合文書を作成する必要があります。文書には次の情報を含める必要があります。

○ 不適合番号: このフィールドを管理し、次の機能を使用するには、Business Central オンラインの番号シリーズ テーブルを使用する必要があります。

○ 英数字の値

○ 番号の一部として「NC」と年を含む数値形式。例: NC24-001

- 不適合日: 作成日のみ保存

- ベンダー番号: 商品を発送したベンダーの番号を保存します。会社のベンダーのみを含める必要があります。

- オーナー: 会社で定義された従業員のコード

- 受領番号：以下の条件を満たす必要があります。

- 既存の領収書番号であること

- ベンダー番号フィールドに示されているベンダーから受け取る

- コメント: 品質の問題を説明するために、リッチテキストと画像を含むコメントを含めることができます。

- ステータス: 次のような不適合ステータスが含まれます。

- 開く

- 通知済み

- 閉鎖

- 行には次の詳細が含まれている必要があります。

- 商品番号: 受領した商品（既存の在庫商品のみ）

- 説明: アイテムの説明

- 数量: 不適合数量

- 不適合タイプ:

- 品質

- 数量

- 配達日

不適合のシリアル番号と、不適合を作成できる期間は、ユーザーが変更できるように、構成テーブルと対応するページに記載されている必要があります。

ホットスポットに関する質問

POS 端末 API を読み取るには、コードユニットを作成する必要があります。

コード セグメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Create and access codeunits

```
codeunit 52102 "POS API Management"
```

```
{
```

;

Access = Internal

Access = Public

Permissions = TableData "POS Information" = rdx

Permissions = TableData "POS Information" = RMDX

```
trigger OnRun()
```

```
begin
```

```
    readAPI();
```

```
end;
```

procedure readAPI()

procedure readAPI(PosNo: Integer)

var procedure readAPI()

```
begin
```

```
    // your code here
```

```
end;
```

```
}
```



Microsoft

Answer:

```
{  
    Access = Internal  
    Access = Public  
    Permissions = TableData "POS Information" = rdx  
    Permissions = TableData "POS Information" = RMDX  
  
    trigger OnRun()  
    begin  
        readAPI();  
    end;  
  
    procedure readAPI()  
    procedure readAPI(PosNo: Integer)  
    var procedure readAPI()  
  
    begin  
        // your code here  
    end;  
}
```

最新問題: 11

会社のサンドボックス環境をクリーンアップしています。

同社では、拡張機能が公開されるたびに環境からデータをクリアすることを要求しています。

launch.json ファイルを設定する必要があります。

どの schemaUpdateMode プロパティを設定する必要がありますか？

- A. 強制アップグレード
- B. 強制同期
- C. 同期
- D. 再作成

Answer: D (メッセージを残す)

拡張機能が公開されるたびにデータを消去する必要がある会社のサンドボックス環境をクリーンアップするコンテキストでは、launch.json ファイルの schemaUpdateMode プロパティを Recreate (D) に設定する必要があります。このプロパティを Recreate に設定すると、拡張機能が公開されるたびに、既存のテーブルとデータが削除され、現在の拡張機能のスキーマに基づいてテーブルが再作成されます。このモードは、以前のデータの残りが結果に影響することなく、拡張機能の各バージョンをテストするためにクリーンな状態が必要な開発環境とテスト環境で特に役立ちます。この設定は、拡張機能によって定義されたテーブル内の既存のデータがすべて失われ

るため、慎重に使用することが重要です。これはサンドボックス環境には適していますが、運用環境には適していません。

最新問題: 12

ドラッグアンドドロップの質問

ある企業では、Business Central で使用するための Connect アプリとアドオン アプリを検討しています。

Connect アプリとアドオン アプリの開発言語要件を説明する必要があります。

アプリの言語要件をどのように説明すればよいでしょうか? 答えるには、適切なアプリの種類を正しい説明に移動します。各アプリの種類は 1 回、複数回、またはまったく使用しないこともできます。

コンテンツを表示するには、ペイン間で分割バーを移動したり、スクロールしたりする必要があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



Answer:



最新問題: 13

過去 7 日間にテナント内で不要な Web サービス呼び出しがあったかどうかを確認する必要があります。

どの 2 つの KQL クエリを使用する必要がありますか? それぞれの正解は完全なソリューションを示します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

A.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has 'RT0008' | where customDimensions.category in ('ODataV4', 'ODataV3', 'Api')
```

B.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has 'RT0008' | where customDimensions.category == 'SOAP'
```

C.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions == 'RT0008' | where customDimensions.category == 'SOAP'
```

D.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has 'RT0008' | where customDimensions.category != 'ODataV4'
```

E.

```
traces | where timestamp > ago(7d) | where customDimensions has 'RT0008' | where customDimensions.category in ('ODataV4', 'Api')
```

Answer: A,C (メッセージを残す)

タスクは、過去 7 日間に受信した不要な Web サービス呼び出しを特定することです。これを行うには、タイムスタンプ (呼び出しが過去 7 日間以内であることを保証) と、不適切な種類のプロトコル (この場合は Contoso Ltd. が使用しない予定の SOAP) などの不要な呼び出しであることを示す特定の特性に基づいて Web サービス呼び出しをフィルター処理する KQL (Kusto クエリ言語) クエリを確認する必要があります。

オプションを見てみましょう:

オプション A: このクエリは、タイムスタンプが過去 7 日以内であり、カスタム ディメンションの値が RT0008」であり、カテゴリが ODataV4」、ODataV3」、または Api」であるすべてのトレースを選択します。このクエリは SOAP を除くすべての API 呼び出しを表示するため、不要な呼び出しに関する質問に直接答えるものではありません。

オプション B: このクエリは、'RT0008' が存在する、過去 7 日間のタイムスタンプを持つトレースをフィルター処理し、特にカテゴリ 'SOAP' を検索します。このクエリは、Contoso Ltd. の計画によると不要な呼び出しである SOAP 呼び出しを直接ターゲットにしているため、正しいクエリです。

オプション C: オプション B と同様に、このクエリは過去 7 日間のトレースをフィルター処理し、RT0008」を検索しますが、カテゴリ SOAP」には等価演算子を使用します。これにより、不要な SOAP 呼び出しも正しく返されます。

オプション D: このクエリも過去 7 日間のトレースをフィルター処理しますが、不要な SOAP 呼び出しを必ずしも対象としない ODataV4」カテゴリは除外されます。

オプション E: このクエリは、タイムスタンプが過去 7 日以内で、カスタム ディメンションに RT0008」があるトレースを選択します。ただし、カテゴリ ODataV4」と Api」は除外されるため、不要な SOAP 呼び出しの識別には直接役立ちません。

したがって、過去 7 日間にテナント内で不要な着信 Web サービス呼び出し (SOAP 呼び出し) があったかどうかを判断するために使用するクエリは、オプション B と C です。これらのクエリは、Contoso Ltd. が不要と見なす SOAP プロトコルの使用を識別することに特化しています。

最新問題: 14

ケーススタディ 1 - Contoso 社

背景

Contoso 社は製造業の販売会社です。複数の国/地域に子会社があり、それぞれが独自のローカライズを行っています。子会社は互いにデータ独立している必要があります。Contoso 社は、外部のビジネス パートナーを利用して、一部の製造品目の下請けを管理しています。Contoso 社にはさまざまな部門があり、部門間でデータ セキュリティが必要です。

現在の環境

Contoso 社では、財務、販売、購買、倉庫、製造プロセスの主要な ERP として Business Central online を使用しています。同社には、Business Central Web アプリケーションと外部アプリケーションを使用する従業員がいます。同社では、カスタムの外部モバイル アプリを開発中です。IT 部門とそのパートナーは、機能がネイティブで利用できない会社の要件を満たすためにカスタム拡張機能をインストールしました。

Contoso, Ltd. は、顧客やパートナーが提供する外部サービスとやり取りします。さまざまなアプリケーションが、Business Central から公開される SOAP および OData エンドポイントとやり取りします。

Contoso 社の外部ビジネス パートナーは、新しい下請け注文の詳細を受信し、受信した各下請け注文の予定リリース日を送信するための REST API を公開しました。

Contoso, Ltd. はテナントの監視を有効化しておらず、アプリの内部テレメトリがありません。さまざまな部門の要件を満たすためにカスタム レポートを作成する必要があります。

テナント管理

Contoso, Ltd. には、次のテナント管理の考慮事項があります。

IT部門

IT 部門には、パフォーマンスの問題を防ぎ、起こりうる異常を検出するためにテナントを監視する機能が必要です。

IT 部門は、Azure Application Insights と Log Analytics を使用して、取り込まれたテレメトリ信号を検査する予定です。

すべてのテナントのアップグレードは、Microsoft によって自動的に処理されます。IT 部門は、更新プログラムの可用性やテナント関連の通知をチェックしません。

IT 部門は、Business Central 管理センターからのテナント関連通知の受信を構成していません。

外部ビジネスパートナー

外部ビジネス パートナーは、ビジネス プロセスを監視するために、Contoso, Ltd. 用に作成されたアプリケーションにカスタム テレメトリを追加する必要があります。

アプリケーションのカスタム テレメトリ信号は、パートナーのテレメトリでのみ表示される必要があります。

石鹼

Contoso 社は、統合に SOAP プロトコルを使用しないことを計画しています。

Contoso 社は、外部アプリケーションが Business Central SOAP エンドポイントを使用しているかどうかを検出する必要があります。

問題

Business Central テナントは、夜間に Microsoft によって新しいメジャー バージョンにアップグレードされます。

ユーザーから、Contoso, Ltd. の拡張機能の 1 つがテナントから消えたという報告がありました。IT 部門は、拡張機能がまだ公開されていることを確認しました。

カスタムモバイルアプリケーションの要件

Contoso 社は、次の要件を満たすカスタム モバイル アプリケーションを作成する予定です。

従業員は、ERP からアイテムの詳細をリアルタイムで確認し、製造プロセス中に発生した問題を報告するために、このアプリを使用する必要があります。

アーカイブされた問題を処理するには、AL 拡張機能を作成する必要があります。

モジュールを実装するときは、Business Central 開発ガイドラインに従う必要があります。

問題情報の報告と追跡を行うためのモジュールを実装する必要があります。このモジュールを Issue Management と呼ぶことにします。モジュールは PostIssue というメソッドを公開する必要があります。

時間の経過とともにコードの変更が必要になります。

問題管理プロセスは、次の 2 つの拡張機能に分割する必要があります。

問題ベース: メイン拡張

ISSUE EXT: ISSUE BASE からの依存関係を持つ 2 番目の拡張

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、IssueTotal という名前のグローバル Decimal 変数を含む Issue テーブルを作成する予定です。

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、次のように定義された説明フィールドを持つ Issue Category という名前のテーブルを定義する予定です。

```
field(2; Description; Text[50])
{
    DataClassification = CustomerContent;
}
```

ISSUE BASE 拡張機能で定義された Issue テーブルには、次のように定義された Clone プロシージャが含まれています。

```
procedure Clone()
begin
end;
```

ISSUE EXT 拡張では、Issue テーブルの tableextension オブジェクトを作成します。

Issue テーブルの tableextension オブジェクトは、IssueTotal: Decimal 変数にアクセスする必要があります。

数週間使用した後、説明フィールドとクローン手順は不要になったため削除する必要があることがわかりました。

ISSUE BASE 拡張機能の新しいバージョンでは、新しい Issue Type テーブルを作成します。以前の古い Issue Category テーブルから新しい Issue Type テーブルにデータを 1 行ずつ移動する必要があります。大量のデータを移動する必要があるため、DataTransfer オブジェクトを使用して Upgrade コードユニットを記述する必要があります。

IT 部門は、カスタムの問題テーブルを公開するためのカスタム API を作成します。API は、問題を新しいテーブルにコピーするためのアクションを提供します。アクションは次のように定義されます。

```
[ServiceEnabled]
procedure Copy(var actionContext: WebServiceActionContext)
begin
end;
```

Contoso, Ltd. は、アイテムの詳細をモバイル アプリケーションに公開するために、Business Central で API を作成する必要があります。

API は、業務時間中に使用される場合、本番環境への影響を最小限に抑える必要があります。

API は Get 操作のみをサポートする必要があります。

問題のデバッグ

Business Central の ISSUE BASE 拡張機能のユーザーが問題を報告します。

この問題をデバッグするために、次の構成のスナップショット デバッグが有効化されました。



デバッグがトリガーされていないことがわかります。

下請け業務におけるビジネスパートナーとの統合

Contoso, Ltd. は、ビジネス パートナーが提供する外部 API に Business Central を接続する必要があります。これは、パートナーが販売需要を満たすために新しい下請け注文の詳細を送信したり、送信された各注文の予定リリース日を受信したりするために使用されます。統合の要件は次のとおりです。

ビジネス パートナーは、基本認証で保護された REST API を提供します。API にアクセスするための資格情報は Contoso, Ltd. と共有されます。

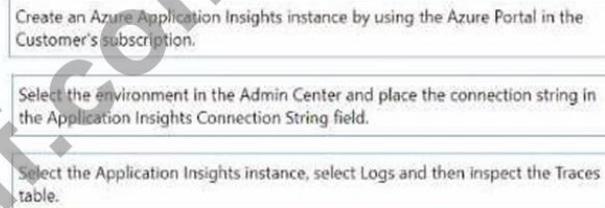
下請け注文を送信するための API は、指定されたエンドポイントに認証された POST リクエストを送信することによって呼び出す必要があります。

各下請け注文の注文番号と予定リリース日を取得するための API は、次の JSON で応答します。

Actions



Steps to configure Telemetry



Explanation:

Azure Application Insights を使用して SaaS テナントのテレメトリを設定するには、次の手順に従う必要があります。

Azure Application Insights インスタンスを作成する: これは、テレメトリ データを収集するインスタンスを Azure に作成する最初の手順です。監視するのは顧客のデータであるため、この操作は顧客の Azure サブスクリプションで実行する必要があります。

作成された Application Insights インスタンスを使用するように SaaS テナントを構成します。これには、テナントからのテレメトリ データが Application Insights インスタンスに送信されるように、Business Central 管理センターに正しい接続文字列を入力することが含まれます。

テレメトリが収集されていることを確認する: 構成後、Azure Application Insights インスタンスの Traces テーブルを調べて、テレメトリが期待どおりに到着しているかどうかを確認します。

「トレース」テーブルにはテレメトリ データが保持されており、これをクエリして正しい信号が取り込まれていることを確認できます。

最新問題: 15

会社はホテル、レストラン、店舗を所有し、運営しています。

スタッフが購買部門に資材を注文しても、そのリクエストは適切な承認者に送られません。

スタッフには、適切な承認者を選択できる「承認者」という新しいフィールドが必要です。フィールドには、次のオプションを含める必要があります。

- * ホテルマネージャー
- * レストランマネージャー
- * 店長
- * 購買マネージャー

AL 拡張機能を使用して、アイテム テーブルに承認者フィールドを作成する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions	Build and extend tables
Create an enum object named Approver and include all options.	
Create a table extension object for an Item table with an Approver field of enum type named Approver in the layout section.	
Create a page extension object that extends the Item Card object. Add the field to the layout section.	
Create a table extension object for an Item table with an Approver field of enum type named Approver in the field section.	
Create a page extension object that extends the Item Card object. Add the field to the fields section.	
Add the options to the existing Base Application Approver table.	

Answer:

Answer Area
Create an enum object named Approver and include all options.
Create a table extension object for an Item table with an Approver field of enum type named Approver in the fields section.
Create a page extension object that extends the Item Card object. Add the field to the fields section.

- 1 - Approver という名前の列挙オブジェクトを作成し、すべてのオプションを含めます。
- 2 - フィールド セクションに Approver という名前の列挙型の Approver フィールドを持つ、アイテム テーブルのテーブル拡張オブジェクトを作成します。
- 3 - アイテム カード オブジェクトを拡張するページ拡張オブジェクトを作成します。フィールド セクションにフィールドを追加します。

最新問題: 16

企業には Business Central オンライン環境があります。

外部 REST サービスに接続する HTTP GET リクエストを作成する必要があります。

どのソリューションを使用すべきでしょうか？

- A. HttpContent データ型変数
- B. コードユニット 1299 「Web リクエスト ヘルパー」
- C. コードユニット S459 「JSON 管理」
- D. コードユニット 1297 「Http Web リクエスト管理」
- E. HttpClient データ型変数

Answer: E ([メッセージを残す](#))

Business Central オンライン環境で外部 REST サービスに接続する HTTP GET 要求を作成するには、HttpClient データ型変数 (E) を使用するソリューションを使用します。AL 言語の HttpClient データ型は、HTTP 要求を送信し、URI で識別されるリソースから HTTP 応答を受信するように設計されています。これは、HTTP GET 要求を構成および実行し、応答を処理し、REST サービス

によって返されるデータを処理するために必要なメソッドとプロパティを提供するため、外部 REST サービスとのインターフェイスに最適です。このアプローチは、RESTful 対話に必要な同じレベルの制御や特異性を提供しない可能性がある「Web 要求ヘルパー」(B) や「Http Web 要求管理」(D) などの特定のコードユニットを使用する場合に比べて、より直接的で柔軟性があります。

有効な **MB-820** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい MB-820 試験問題集！
GoShiken.com が最新の **MB-820** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com MB-820 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com MB-820 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/MB-820-mondaishu.html> (**12030%OFF**問題集 溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

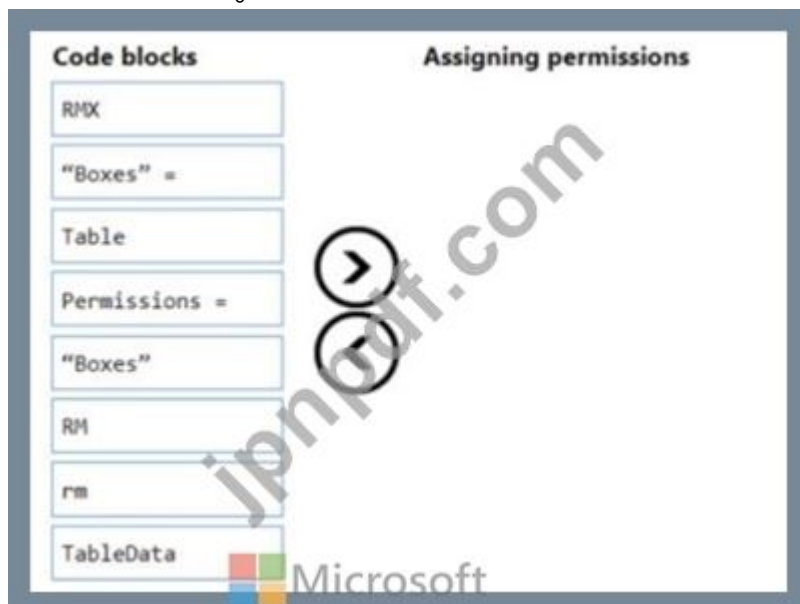
ドラッグアンドドロップの質問

Boxes という名前のテーブルで機能するコードユニットを作成します。レコードをフィルター処理してから変更する予定です。

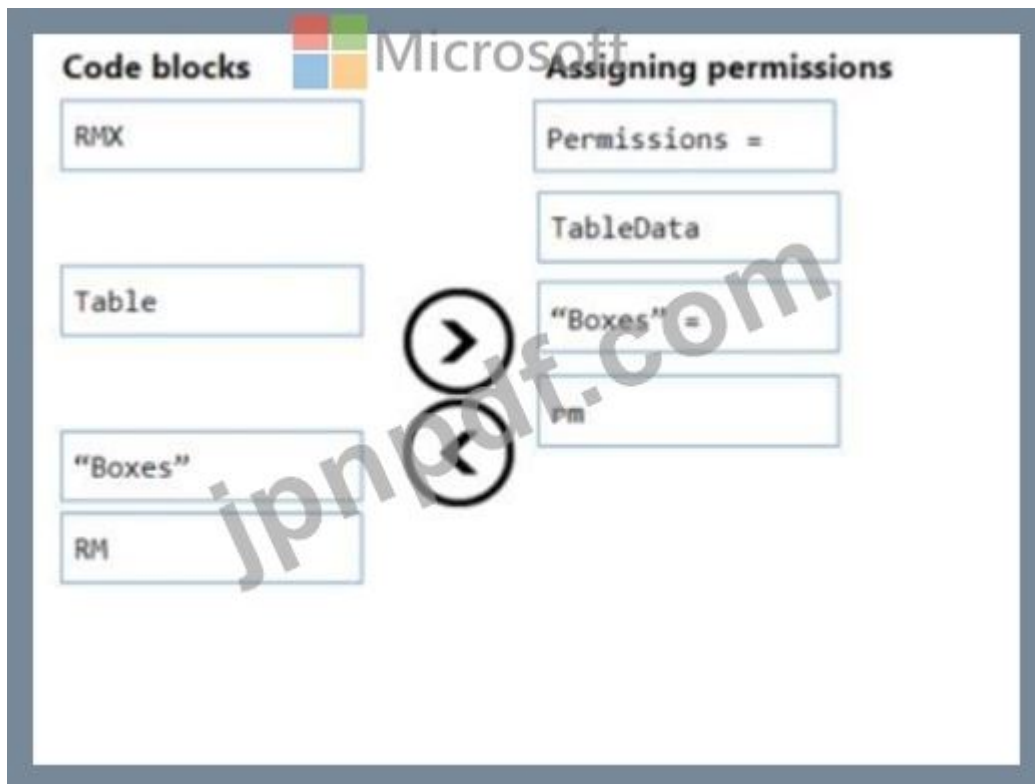
Boxes テーブルを操作する権限がないというエラーが表示されます。

Boxes テーブルの間接権限をコードユニットに割り当てる必要があります。

正しい権限を割り当てるには、どの 4 つのコード ブロックを順番に使用する必要がありますか？
回答するには、コード ブロックのリストから適切なコード ブロックを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。



Answer:



最新問題: 18

Business Central からデータをエクスポートしています。

データは、固定長と幅を持たずに CSV 形式でエクスポートする必要があります。

必要な形式でデータをエクスポートするには、XML ポートを作成する必要があります。どの Format プロパティ値を使用する必要がありますか？

- A. XML
- B. 変数テキスト
- C. 固定テキスト

Answer: B ([メッセージを残す](#))

Business Central からデータをエクスポートし、そのデータが固定長および固定幅でない CSV 形式であることが要件である場合、XML ポートの Format プロパティを VariableText (B) に設定する必要があります。VariableText 形式は、フィールドがコンマやタブなどの区切り文字で区切られているデータ エクスポートを処理するために設計されており、これは CSV (カンマ区切り値) ファイルに典型的です。この形式は、フィールドごとに固定幅を強制しないため、さまざまなフィールド長を処理するときに必要な柔軟性が得られ、CSV データのエクスポートに最適です。Format プロパティを FixedText (C) に設定すると、フィールドごとに固定幅が強制されますが、これは CSV ファイルには適していません。一方、XML 形式 (A) は、CSV 形式の要件とは異なる XML 構造でデータをエクスポートするために使用されます。

最新問題: 19

上位の顧客を表示する手順を含むクエリを作成します。

実行時に手順が中断されます。

```

01 procedure RunTopCustomerOverview()
02 var
03   TopCustomerOverview: Query "Top Customer Overview";
04   Text000Msg: Label 'Customer name = %1, Sales = %2', Comment = '%1 specifies customer name, %2 specifies customer sales';
05 begin
06   TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000');
07   while TopCustomerOverview.Read() do
08     Message(Text000Msg, TopCustomerOverview.Name, TopCustomerOverview.Sales_LCY);
09   TopCustomerOverview.Close();
10 end;

```

コードを修正する必要があります。

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに1ポイントが付与されます。

Statement	Yes	No
Enclose line 08 into BEGIN..END	☐	☐
Add TopCustomerOverview.Open(); before TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☐	☐
Add TopCustomerOverview.Open(); after TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☐	☐
Replace SetFilter in line 06 with SetRange.	☐	☐

Answer:

Statement	Yes	No
Enclose line 08 into BEGIN..END	☐	☒
Add TopCustomerOverview.Open(); before TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☒	☐
Add TopCustomerOverview.Open(); after TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☒	☐
Replace SetFilter in line 06 with SetRange.	☐	☒

要約すると、プロシージャを正しく実行するには、フィルターを設定した後、フィルターからの読み取りを試みる前にクエリを開く必要があります。SetFilter メソッドは目的の操作に適しており、SetRange を使用したり、Message 呼び出しを BEGIN .. END ブロックで囲む必要はありません。

最新問題: 20

ホットスポットに関する質問

上位の顧客を表示する手順を含むクエリを作成します。

実行時に手順が中断されます。

```

01 procedure RunTopCustomerOverview()
02 var
03   TopCustomerOverview: Query "Top Customer Overview";
04   Text000Msg: Label 'Customer name = %1, Sales = %2', Comment = '%1 specifies customer name, %2 specifies customer sales';
05 begin
06   TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000');
07   while TopCustomerOverview.Read() do
08     Message(Text000Msg, TopCustomerOverview.Name, TopCustomerOverview.Sales_LCY);
09   TopCustomerOverview.Close();
10 end;

```

コードを修正する必要があります。

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Creating a query

Statement	Yes	No
Enclose line 08 into BEGIN..END	☐	☐
Add TopCustomerOverview.Open(); before TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☐	☐
Add TopCustomerOverview.Open(); after TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☐	☐
Replace SetFilter in line 06 with SetRange.	☐	☐

Answer:

Creating a query

Statement	Yes	No
Enclose line 08 into BEGIN..END	☐	☒
Add TopCustomerOverview.Open(); before TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☐	☒
Add TopCustomerOverview.Open(); after TopCustomerOverview.SetFilter(Sales_LCY, '>10000'); in line 06.	☒	☐
Replace SetFilter in line 06 with SetRange.	☐	☒

最新問題: 21

他の拡張機能を壊すことなく、説明フィールドとクローン手順の削除を処理する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

注意: 正解の回答順序は複数あります。正解の回答順序のいずれかを選択すると、得点が与えられます。

Actions

Set the Description field as ObsoleteState = Removed; in version 2.0.0.1.
Remove the Description field in version 2.0.0.0.
Set the Clone procedure as ObsoleteState = Removed; in version 2.0.0.1.
Remove the Clone procedure in version 2.0.0.0.
Set the Clone procedure as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.
Set the Description field as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.
Remove the Description field from the Issue table in version 2.0.0.1.
Add the [Obsolete('xxx')] attribute to the Clone procedure in version 2.0.0.0.

Actions to handle the field and procedure removal

Microsoft

Answer:

Answer Area

Set the Description field as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.

Set the Clone procedure as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.

Remove the Description field from the Issue table in version 2.0.0.1.

- 1 - バージョン 2.0.0.0 では、説明フィールドを ObsoleteState = Pending、ObsoleteReason = 'Not in use' に設定します。
- 2 - バージョン 2.0.0.0 で、クローン プロシージャを ObsoleteState = Pending、ObsoleteReason = 'Not in use' に設定します。
- 3 - バージョン 2.0.0.1 の問題テーブルから説明フィールドを削除します。

最新問題: 22

ある企業がオンプレミスで Business Central を展開しています。

同社は、シングルテナント展開アーキテクチャを使用する予定です。

データの保存方法と Business Central Server の構成方法を説明する必要があります。

シングルテナント アーキテクチャを説明するには、どの 2 つの方法を使用しますか? それぞれの正解は完全なソリューションを示します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

- A. 各顧客には独自の Business Central サーバーがあります。
- B. アプリケーションとビジネス データは同じデータベースに保存されます。
- C. 複数の顧客が 1 つの Business Central サーバーを共有します。
- D. アプリケーション データとビジネス データは別々のデータベースに保存されます。
- E. 複数の顧客が複数の Business Central Server インスタンスを共有します。

Answer: ([解答を表示する](#))

オンプレミスの Business Central のシングルテナント展開アーキテクチャでは、次の特性によってデータの保存方法と Business Central Server の構成方法が説明されます。

アプリケーションとビジネス データは同じデータベースに保存されます (B): シングルテナント アーキテクチャでは、各テナント (通常は単一の顧客に対応) に専用のデータベースがあります。このデータベースには、アプリケーション オブジェクト (ページ、レポート、コード ユニットなど) とビジネス データ (顧客、ベンダー、トランザクション レコードなど) の両方が含まれます。この設定により、各テナントのデータが分離され、個別に管理できるようになります。

アプリケーションとビジネス データは別々のデータベースに保存されます (D): (B) はシングルテナント展開の特徴ですが、一部の構成では、アプリケーション オブジェクトをビジネス データとは別のデータベースに保存できることを明確にすることが重要です。このアプローチを使用すると、ビジネス データに影響を与えずに、アプリケーション コードのメンテナンスとアップグレー

ドを簡単に行うことができます。ただし、各テナントには独自のデータベース セットが保持され、シングルテナント モデルが維持されます。

提供されている他のオプションは、シングルテナント アーキテクチャを正確に説明していません。

各顧客には独自の Business Central Server があります (A): この記述は誤解を招く可能性があります。単一テナント展開では、各顧客には独自のデータベースがありますが、必ずしも独自の Business Central Server インスタンスがあるわけではありません。複数のデータベース (テナント) を単一のサーバー インスタンスでホストすることはできますが、顧客間で共有されることはありません。

複数の顧客が単一の Business Central Server を共有する (C) および複数の顧客が複数の Business Central Server インスタンスを共有する (E): これらのオプションは、単一テナント アーキテクチャではなく、マルチテナント アーキテクチャを表します。マルチテナント設定では、複数の顧客 (テナント) が同じサーバー インスタンス、さらには同じアプリケーション データベースを共有でき、アプリケーション レベルでデータの分離が保証されます。

最新問題: 23

ホットスポットに関する質問

次のコードを含むテナントごとの拡張機能があります。

```
10 interface "IDiscount Calculation"
11 {
12     procedure GetLine(var Line: Variant)
13     procedure GetDiscount() : Decimal
14 }
15 codeunit 50100 "Discount Mgmt." implements "IDiscount Calculation"
16 {
17     procedure GetLine(var VariantLine: Variant)
18     begin
19     end;
20     procedure GetDiscount() DiscountAmount : Decimal
21     begin
22     end;
23     procedure DiscountIsValid(DocumentDate: Date): Boolean
24     begin
25     end;
26 }
```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Interface implementation

Statement

Codeunit "Discount Mgmt." compiles successfully.

VariantLine in line 17 must be changed to Line and the DiscountAmount removed for the codeunit to compile.

The DiscountIsValid method must be defined in the interface for the code to compile.

Yes

No

☐☐☐☐☐☐

Answer:

Interface implementation

Statement

Codeunit "Discount Mgmt." compiles successfully.

VariantLine in line 17 must be changed to Line and the DiscountAmount removed for the codeunit to compile.

The DiscountIsValid method must be defined in the interface for the code to compile.

Yes

No

☒☐☐☒☐☒

最新問題: 24

企業には Business Central オンライン環境があります。

DownloadFromStream メソッドを使用してクライアントからファイルをエクスポートしています。

データを送信するにはInStreamデータ型を作成する必要があります
どのソリューションを使用すべきでしょうか？

- A. コードユニット 「Temp Blob」の OeatInStream メソッドを使用します。
- B. 「TempBlob」テーブルの BLOB フィールドに OeatInStream メソッドを使用します。
- C. ファイル型変数には CreateInStream メソッドを使用します。

Answer: A (メッセージを残す)

Business Central オンライン環境で DownloadFromStream メソッドを使用してクライアントからファイルをエクスポートする場合、データを送信するための InStream データ型を作成する必要があります。解決策は、コードユニット 「Temp Blob」(A) の CreateInStream メソッドを使用することです。Temp Blob コードユニットは、BLOB (バイナリ ラージ オブジェクト) の一時的なストレージを提供し、Business Central でファイルとストリームを処理するためによく使用されます。Temp Blob で CreateInStream メソッドを使用すると、InStream が作成され、これを DownloadFromStream メソッドで使用するファイル データをクライアントに送信できます。この方法は、Business Central でのファイルの処理と転送に効率的であり、特にデータのエクスポートやファイルの操作を伴うシナリオで効果的です。

最新問題: 25

モバイル アプリケーションから Issue API アクションを呼び出す必要があります。

どのアクションを使用すべきでしょうか？

- A. POST/問題 (88122e0e-5796-ec11-bb87-000d3a392eb5)Microsoft.NAV.copy
- B. パッチ /issues {88122 eOe-5796-ed 1 -bb87-000d3a392eb5)/Mkrosotl.NAV.Copy
- C. POST /issues (88122e0e-5796-ec11 -bb87-000d3a392eb5)/コピー
- D. POST /issues (88122e0e-5796-ec11 -bb87-000d3a392eb5)/コピー
- E. POST/issues(88122e0e-5796-ec11-bb87-000d3a392eb5)/MicrosoftNAV.コピー

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

ケース スタディで説明されているコンテキストでは、モバイル アプリケーションから API アクションを呼び出す場合、Business Central のアクションに対する POST 要求の正しい形式では通常、エンティティ (/issues)、エンティティの ID (88122e0e-5796-ec11-bb87-000d3a392eb5)、および呼び出すアクション (/Copy) を指定します。アクション名は、大文字と小文字が区別される AL コードで定義されている名前と正確に一致する必要があります。

オプション A は、アクション呼び出しに非標準の形式を使用しているため、正しくありません。オプション B では、アクションの呼び出しではなく、更新操作に通常使用される PATCH メソッドを使用します。

オプション C は、アクションの呼び出しに適した POST メソッドを使用し、エンティティ、ID、およびアクション名を正しく指定しているため正解です。

オプション D は、アクション名 /copy が小文字であるのに対し、AL は大文字と小文字を区別し、コードで定義されている大文字と小文字を正確に一致させる必要があるため、正しくありません。

オプション E では、アクション名の前に誤って「MicrosoftNAV」が追加されますが、これは Business Central API でアクションを呼び出す場合の標準ではありません。

したがって、モバイル アプリケーションから Issue API アクションを呼び出すときに使用する正しいアクションは、オプション C に示されています。

最新問題: 26

販売注文の転記プロセスをテストするためのテスト アプリケーションを開発しています。次の実装を提供する必要があります。

* 投稿オプション (ダイアログ: 発送、請求書、発送と請求書) の値を請求書として指定します。

* 計算と値のチェックを実行します。

テスト コードユニットの開発を完了する必要があります。

どのメソッドを使用すべきでしょうか？ 答えるには、適切なメソッドを正しい実装に移動します。各メソッドは 1 回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーを移動したり、スクロールしたりする必要がある場合があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Methods		Test codeunit implementations	
Handler	Normal	Implementation	Method
		Specify the value of the post options as Invoice.	
		Perform calculations and values checking.	

Answer:

Methods: Microsoft		Test codeunit implementations	Implementation	Method
Handler	Normal		Specify the value of the post options as Invoice.	Test
Test			Perform calculations and values checking.	Handler

最新問題: 27

文字 S で始まらない番号を持つすべての在庫項目をブロックする手順を記述しています。

手続きを完了する必要があります。

コード式をどのように完成させるべきでしょうか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Item. [Dropdown] :

Item. [Dropdown] (Type, Item.Type::Inventory);

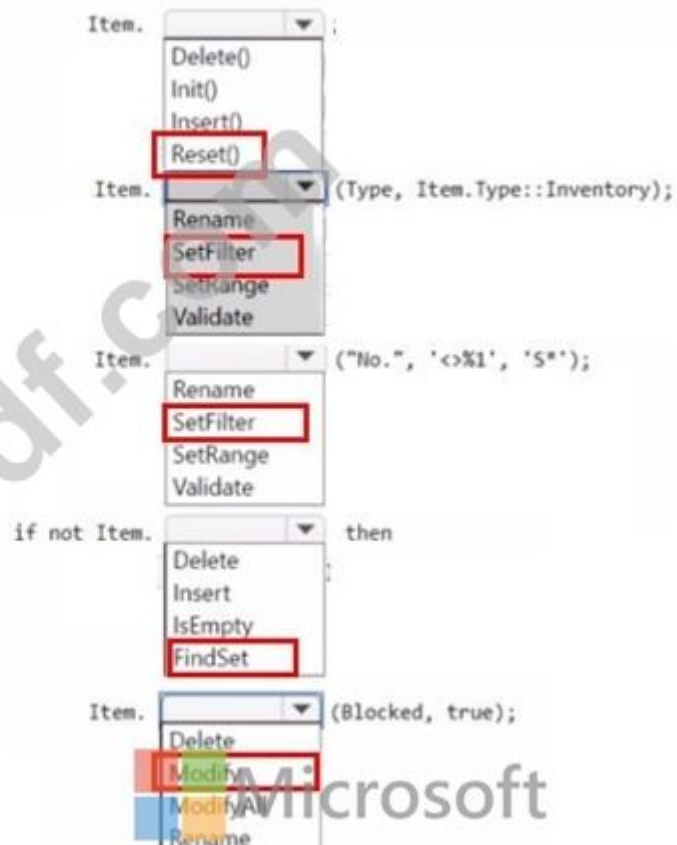
Item. [Dropdown] ("No.", '<>%1', 'S*');

if not Item. [Dropdown] then

Item. [Dropdown] (Blocked, true);

Microsoft

Answer:



最新問題: 28

ある企業は新しい規制要件を満たす計画を立てています。

規制当局は新たな税率区分を発行した。

テーブル拡張を使用して、基本アプリケーション テーブルを更新する必要があります。

どのテーブル フィールド プロパティを変更できますか？

- A. 計算式
- B. 小数点以下桁数
- C. 空白ゼロ
- D. オートフォーマットタイプ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

Microsoft Dynamics 365 Business Central のテーブル拡張機能を使用して基本アプリケーション テーブルを更新する場合、規制の変更などの新しい要件を満たすために、テーブル フィールドの特定のプロパティを変更できます。DecimalPlaces プロパティ (B) は、テーブル拡張機能で調整できるプロパティの 1 つです。このプロパティは、テーブル内の小数点フィールドに表示および保存される小数点以下の桁数を決定します。DecimalPlaces プロパティの調整は、規制当局によって設定された新しい税階層を満たすために精度が必要な財務データや税計算を処理する場合に特に役立ちます。テーブル拡張機能ではすべてのプロパティを変更できるわけではないことに注意してください。たとえば、CalcFormula プロパティ (A) は、フィールドの値の計算方法に影響するため変更できません。これは、基本アプリケーションのロジックに大きな影響を与える可能性があります。

最新問題: 29

ケーススタディ 1 - Contoso 社

背景

Contoso 社は製造業の販売会社です。複数の国/地域に子会社があり、それぞれが独自のローカライズを行っています。子会社は互いにデータ独立している必要があります。Contoso 社は、外部のビジネス パートナーを利用して、一部の製造品目の下請けを管理しています。Contoso 社にはさまざまな部門があり、部門間でデータ セキュリティが必要です。

現在の環境

Contoso 社では、財務、販売、購買、倉庫、製造プロセスの主要な ERP として Business Central online を使用しています。同社には、Business Central Web アプリケーションと外部アプリケーションを使用する従業員がいます。同社では、カスタムの外部モバイル アプリを開発中です。IT 部門とそのパートナーは、機能がネイティブで利用できない会社の要件を満たすためにカスタム拡張機能をインストールしました。

Contoso, Ltd. は、顧客やパートナーが提供する外部サービスとやり取りします。さまざまなアプリケーションが、Business Central から公開される SOAP および OData エンドポイントとやり取りします。

Contoso 社の外部ビジネス パートナーは、新しい下請け注文の詳細を受信し、受信した各下請け注文の予定リリース日を送信するための REST API を公開しました。

Contoso, Ltd. はテナントの監視を有効化しておらず、アプリの内部テレメトリがありません。さまざまな部門の要件を満たすためにカスタム レポートを作成する必要があります。

テナント管理

Contoso, Ltd. には、次のテナント管理の考慮事項があります。

IT部門

IT 部門には、パフォーマンスの問題を防ぎ、起こりうる異常を検出するためにテナントを監視する機能が必要です。

IT 部門は、Azure Application Insights と Log Analytics を使用して、取り込まれたテレメトリ信号を検査する予定です。

すべてのテナントのアップグレードは、Microsoft によって自動的に処理されます。IT 部門は、更新プログラムの可用性やテナント関連の通知をチェックしません。

IT 部門は、Business Central 管理センターからのテナント関連通知の受信を構成していません。

外部ビジネスパートナー

外部ビジネス パートナーは、ビジネス プロセスを監視するために、Contoso, Ltd. 用に作成されたアプリケーションにカスタム テレメトリを追加する必要があります。

アプリケーションのカスタム テレメトリ信号は、パートナーのテレメトリでのみ表示される必要があります。

石鹼

Contoso 社は、統合に SOAP プロトコルを使用しないことを計画しています。

Contoso 社は、外部アプリケーションが Business Central SOAP エンドポイントを使用しているかどうかを検出する必要があります。

問題

Business Central テナントは、夜間に Microsoft によって新しいメジャー バージョンにアップグレードされます。

ユーザーから、Contoso, Ltd. の拡張機能の 1 つがテナントから消えたという報告がありました。IT 部門は、拡張機能がまだ公開されていることを確認しました。

カスタムモバイルアプリケーションの要件

Contoso 社は、次の要件を満たすカスタム モバイル アプリケーションを作成する予定です。

従業員は、ERP からアイテムの詳細をリアルタイムで確認し、製造プロセス中に発生した問題を報告するために、このアプリを使用する必要があります。

アーカイブされた問題を処理するには、AL 拡張機能を作成する必要があります。

モジュールを実装するときは、Business Central 開発ガイドラインに従う必要があります。

問題情報の報告と追跡を行うためのモジュールを実装する必要があります。このモジュールを Issue Management と呼ぶことにします。モジュールは PostIssue というメソッドを公開する必要があります。

時間の経過とともにコードの変更が必要になります。

問題管理プロセスは、次の 2 つの拡張機能に分割する必要があります。

問題ベース: メイン拡張

ISSUE EXT: ISSUE BASE からの依存関係を持つ 2 番目の拡張

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、IssueTotal という名前のグローバル Decimal 変数を含む Issue テーブルを作成する予定です。

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、次のように定義された説明フィールドを持つ Issue Category という名前のテーブルを定義する予定です。

```
field(2; Description; Text[50])
{
    DataClassification = CustomerContent;
}
```

ISSUE BASE 拡張機能で定義された Issue テーブルには、次のように定義された Clone プロシージャが含まれています。

```
procedure Clone()
begin
end;
```

ISSUE EXT 拡張では、Issue テーブルの tableextension オブジェクトを作成します。

Issue テーブルの tableextension オブジェクトは、IssueTotal: Decimal 変数にアクセスする必要があります。

数週間使用した後、説明フィールドとクローン手順は不要になったため削除する必要があることがわかりました。

ISSUE BASE 拡張機能の新しいバージョンでは、新しい Issue Type テーブルを作成します。以前の古い Issue Category テーブルから新しい Issue Type テーブルにデータを 1 行ずつ移動する必要があります。大量のデータを移動する必要があるため、DataTransfer オブジェクトを使用して Upgrade コードユニットを記述する必要があります。

IT 部門は、カスタムの問題テーブルを公開するためのカスタム API を作成します。API は、問題を新しいテーブルにコピーするためのアクションを提供します。アクションは次のように定義されます。

```
[ServiceEnabled]
procedure Copy(var actionContext: WebServiceActionContext)
begin
end;
```

Contoso, Ltd. は、アイテムの詳細をモバイル アプリケーションに公開するために、Business Central で API を作成する必要があります。

API は、業務時間中に使用される場合、本番環境への影響を最小限に抑える必要があります。

API は Get 操作のみをサポートする必要があります。

問題のデバッグ

Business Central の ISSUE BASE 拡張機能のユーザーが問題を報告します。

この問題をデバッグするために、次の構成のスナップショット デバッグが有効化されました。



デバッグがトリガーされていないことがわかります。

下請け業務におけるビジネスパートナーとの統合

Contoso, Ltd. は、ビジネス パートナーが提供する外部 API に Business Central を接続する必要があります。これは、パートナーが販売需要を満たすために新しい下請け注文の詳細を送信したり、送信された各注文の予定リリース日を受信したりするために使用されます。統合の要件は次のとおりです。

ビジネス パートナーは、基本認証で保護された REST API を提供します。API にアクセスするための資格情報は Contoso, Ltd. と共有されます。

下請け注文を送信するための API は、指定されたエンドポイントに認証された POST リクエストを送信することによって呼び出す必要があります。

各下請け注文の注文番号と予定リリース日を取得するための API は、次の JSON で応答します。

```

{
  "status": "OK",
  "num_results": 110,
  "results": [
    {
      "order_no": "SB0230034",
      "customer_name": "Contoso Ltd.",
      "planned_release_date": "2023-12-13",
      "updated_date": "2023-10-20"
    }
  ]
}

```

各注文番号を取得する必要があります。

ドラッグアンドドロップの質問

他の拡張機能を壊すことなく、説明フィールドとクローン手順の削除を処理する必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクション リストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

注意: 正解の回答順序は複数あります。正解の回答順序のいずれかを選択すると、得点が与えられます。

Actions	Actions to handle the field and procedure removal
Set the Clone procedure as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.	
Set the Description field as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.	
Set the Description field as ObsoleteState = Removed; in version 2.0.0.1.	
Remove the Description field in version 2.0.0.0.	
Set the Clone procedure as ObsoleteState = Removed; in version 2.0.0.1.	
Remove the Clone procedure in version 2.0.0.0.	
Remove the Description field from the Issue table in version 2.0.0.1.	
Add the [Obsolete('xxx')] attribute to the Clone procedure in version 2.0.0.0.	

Answer:

Actions

Set the Description field as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.

Remove the Description field in version 2.0.0.0.

Set the Clone procedure as ObsoleteState = Removed; in version 2.0.0.1.

Remove the Clone procedure in version 2.0.0.0.

Add the [Obsolete('xxx')] attribute to the Clone procedure in version 2.0.0.0.

Actions to handle the field and procedure removal

Set the Clone procedure as ObsoleteState = Pending and ObsoleteReason = 'Not in use' in version 2.0.0.0.

Set the Description field as ObsoleteState = Removed; in version 2.0.0.1.

Remove the Description field from the Issue table in version 2.0.0.1.



最新問題: 30

Business Central からデータをエクスポートしています。

データは、固定長と幅を持たずに CSV 形式でエクスポートする必要があります。

必要な形式でデータをエクスポートするには、XML ポートを生成する必要があります。

どの Format プロパティ値を使用する必要がありますか？

A. XML

B. 変数テキスト

C. 固定テキスト

Answer: ([解答を表示する](#))

Business Central からデータをエクスポートし、そのデータが固定長および固定幅でない CSV 形式であることが要件である場合、XML ポートの Format プロパティを VariableText (B) に設定する必要があります。VariableText 形式は、フィールドがコンマやタブなどの区切り文字で区切られているデータ エクスポートを処理するために設計されており、これは CSV (カンマ区切り値) ファイルに典型的です。この形式は、フィールドごとに固定幅を強制しないため、さまざまなフィールド長を処理するときに必要な柔軟性が得られ、CSV データのエクスポートに最適です。Format プロパティを FixedText (C) に設定すると、フィールドごとに固定幅が強制されますが、これは CSV ファイルには適していません。一方、XML 形式 (A) は、CSV 形式の要件とは異なる XML 構造でデータをエクスポートするために使用されます。

最新問題: 31

ホットスポットに関する質問

クライアントデータを保持するためのテーブルを作成する予定です。

次のデータ整合性要件があります。

- 他のレコードへの参照を確立する必要があります。

- 宛先レコードにレコードが存在するかどうかを検証します。

各要件に使用するテーブル フィールド プロパティを選択する必要があります。

どのテーブル フィールド プロパティを使用する必要がありますか？ 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントの価値があります。

Build tables

Requirement
Establish lookups into other records.

Validate if a record exists.

Table field property

- DataClassification
- ExternalAccess
- TableRelation
- ValidateTableRelation

Answer:

Build tables

Requirement
Establish lookups into other records.

Validate if a record exists.

Table field property

- DataClassification
- ExternalAccess
- TableRelation
- ValidateTableRelation

有効な **MB-820** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい MB-820 試験問題集！
GoShiken.com が最新の **MB-820** 試験問題集を提供しています。GoShiken.com MB-820 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com MB-820 問題集をゲットする人はこちら: <https://www.goshiken.com/Microsoft/MB-820-mondaishu.html> (**12030%OFF**問題集 溶と正解付きで **30%w** 特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 32

ホットスポットに関する質問

ある会社には、「新規ジョブステータス」というページがあり、これは「ジョブ」というソーステーブルに接続されています。このページには、「項目元帳エントリ」というアクションがあります。会社では、ページに次の変更を要求しています。

- ページをフィルタリングして、オープンまたは見積もりステータスのジョブのみを表示します。
- 内部使用のために次のコメントを追加します: このページは完了したジョブを含めません。
- 項目元帳エントリ アクションでは、選択したジョブをページで開き、ユーザーが変更できるように UI に表示する必要があります。

各要件に使用するプロパティ選択を選択する必要があります。

どのプロパティ選択を使用する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

The screenshot shows a configuration window with a Microsoft logo. On the left, under 'Page modifications', there are three requirements: 'Display status of open or quote.', 'Add a comment for internal use.', and 'Action must open selected job on the page.'. On the right, under 'Property selection', there are three dropdown menus. The first dropdown is for 'SourceTableView' and has three options: 'sorting(Status) order(ascending)', 'where(Status = filter(Open | Quote | Planning))', and 'where(Status = filter(Open | Quote))'. The second dropdown is for 'Description' and 'ToolTip' and has two options: 'This page does not include completed jobs;' and 'This page does not include completed jobs;'. The third dropdown is for 'RunPageLink' and 'RunPageView' and has two options: 'Job No. = FIELD("No.");' and 'Job No. = FIELD("No.");'.

Answer:

This screenshot is identical to the one above, but the correct selections are highlighted in green. In the 'SourceTableView' dropdown, the third option 'where(Status = filter(Open | Quote))' is selected. In the 'Description' and 'ToolTip' dropdown, the first option 'This page does not include completed jobs;' is selected. In the 'RunPageLink' and 'RunPageView' dropdown, the first option 'Job No. = FIELD("No.");' is selected.

最新問題: 33

長期的な使いやすさのために拡張機能を維持する場合、どのようなベストプラクティスに従う必要がありますか?

- A. 新機能の追加のみに焦点を当てる
- B. 混乱を最小限に抑えるために、更新を数年に1回に制限します。

- C. 一貫性を保つためにハードコードされた値を使用する
- D. 最新のAL言語機能に合わせてコードを定期的にリファクタリングする

Answer: ([解答を表示する](#))

最新問題: 34

ある企業は新しい規制要件を満たす計画を立てています。

規制当局は新たな税率区分を発行した。

テーブル拡張を使用して、基本アプリケーション テーブルを更新する必要があります。

どのテーブル フィールド プロパティを変更できますか？

- A. 計算式
- B. 小数点以下桁数
- C. 空白ゼロ
- D. オートフォーマットタイプ

Answer: B ([メッセージを残す](#))

Microsoft Dynamics 365 Business Central のテーブル拡張機能を使用して基本アプリケーション テーブルを更新する場合、規制の変更などの新しい要件を満たすために、テーブル フィールドの特定のプロパティを変更できます。DecimalPlaces プロパティ (B) は、テーブル拡張機能で調整できるプロパティの 1 つです。このプロパティは、テーブル内の小数点フィールドに表示および保存される小数点以下の桁数を決定します。DecimalPlaces プロパティの調整は、規制当局によって設定された新しい税階層を満たすために精度が必要な財務データや税計算を処理する場合に特に役立ちます。テーブル拡張機能ではすべてのプロパティを変更できるわけではないことに注意してください。たとえば、CalcFormula プロパティ (A) は、フィールドの値の計算方法に影響するため変更できません。これは、基本アプリケーションのロジックに大きな影響を与える可能性があります。

トピック 1、Contoso 社

概要

Contoso 社は製造業の販売会社です。複数の国/地域に子会社があり、それぞれが独自のローカライズを行っています。子会社は互いにデータ独立している必要があります。Contoso 社は、外部のビジネス パートナーを利用して、一部の製造品目の下請けを管理しています。Contoso 社にはさまざまな部門があり、部門間のデータ セキュリティが必要です。

Contoso, Ltd. は、財務、販売、購買、倉庫、製造プロセスの主要な ERP として Business Central Online を使用しています。同社には、Business Central Web アプリケーションと外部アプリケーションを使用する従業員がいます。同社では、カスタムの外部モバイル アプリを開発中です。IT 部門とそのパートナーは、機能がネイティブで利用できない会社の要件を満たすために、カスタム拡張機能をインストールしました。

Contoso, Ltd. は、顧客やパートナーが提供する外部サービスとやり取りします。さまざまなアプリケーションが、Business Central から公開される SOAP および OData エンドポイントとやり取りします。

Contoso 社の外部ビジネス パートナーは、新しい下請け注文の詳細を受信し、受信した各下請け注文の予定リリース日を送信するための REST API を公開しました。

Contoso. Ltd. はテナントの監視を有効化しておらず、アプリの内部テレメトリがありません。
さまざまな部門の要件を満たすためにカスタム レポートを作成する必要があります。
Contoso, Ltd. には、次のテナント管理の考慮事項があります。

IT部門

- * IT 部門には、パフォーマンスの問題を防ぎ、起こりうる異常を検出するためにテナントを監視する機能が必要です。
- * IT 部門は、Azure Application Insights と Log Analytics を使用して、取り込まれたテレメトリ信号を検査する予定です。
- * すべてのテナントのアップグレードは、Microsoft によって自動的に処理されます。IT 部門は、更新プログラムの可用性やテナント関連の通知をチェックしません。
- * IT 部門は、Business Central 管理センターからのテナント関連通知の受信を構成していません。

外部ビジネスパートナー

- * 外部ビジネス パートナーは、ビジネス プロセスを監視するために、Contoso. Ltd. 用に作成されたアプリケーションにカスタム テレメトリを追加する必要があります。
- * アプリケーションのカスタム テレメトリ信号は、パートナーのテレメトリでのみ表示される必要があります。

石鹼

- * Contoso 社は、統合に SOAP プロトコルを使用しないことを計画しています。
- * Contoso 社は、外部アプリケーションが Business Central SOAP エンドポイントを使用しているかどうかを検出できる必要があります。

問題

Business Central テナントは、夜間に Microsoft によって新しいメジャー バージョンにアップグレードされます。

ユーザーから、Contoso. Ltd. の拡張機能の 1 つがテナントから消えたという報告がありました。IT 部門は、拡張機能がまだ公開されていることを確認しました。

Contoso Ltd. は、次の要件を満たすカスタム モバイル アプリケーションを作成する予定です。

- * 従業員は、ERP からリアルタイムで品目の詳細を確認し、製造プロセス中に発生した問題を報告するために、このアプリを使用する必要があります。
- * アーカイブされた問題を処理するには、AL 拡張機能を作成する必要があります。
- * モジュールを実装するときは、Business Central 開発ガイドラインに従う必要があります。
- * 問題情報の報告と追跡を行うためのモジュールを実装する必要があります。このモジュールを Issue Management と呼ぶ予定です。モジュールは nan メソッドを公開する必要があります。
- * 時間の経過とともにコードの変更が必要になります。
- * 問題管理プロセスは、次の 2 つの拡張機能に分割する必要があります。
 - o ISSUE BASE: メイン拡張
 - o ISSUE EXT: ISSUE BASEからの依存関係を持つ2番目の拡張
- * ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、Issue Total という名前のグローバル Decimal 変数を含む Issue テーブルを作成する予定です。

* ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、次のように定義された説明フィールドを持つ Issue Category という名前のテーブルを定義する予定です。

フィールド (2; 説明; テキスト[SG])

```
{
データ分類 * CustoaerContent;
>
```

* ISSUE BASE 拡張機能で定義された Issue テーブルには、次のように定義された Clone プロシージャが含まれています。

手順 Corte() 開始終了;

* ISSUE EXT 拡張では、Issue テーブルのテーブル拡張オブジェクトを作成します。

* 問題テーブルのテーブル拡張オブジェクトは、問題合計: 小数点変数にアクセスする必要があります。

数週間使用した後、説明フィールドとクローン手順は不要になったため削除する必要があることがわかりました。

ISSUE BASE 拡張機能の新しいバージョンでは、新しい Issue Type テーブルを作成します。以前の古い Issue Category テーブルから新しい Issue Type テーブルにデータを 1 行ずつ移動する必要があります。大量のデータを移動する必要があるため、DataTransfer オブジェクトを使用して Upgrade コードユニットを記述する必要があります。

IT 部門は、カスタムの問題テーブルを公開するためのカスタム API を作成します。API は、問題を新しいテーブルにコピーするためのアクションを提供します。アクションは次のように定義されます。

(サービス有効)

手順のコピー (アクションコンテキストを変更: WebServiceActionContext)

始める

終わり;

Contoso, Ltd. は、アイテムの詳細をモバイル アプリケーションに公開するために、Business Central で API を作成する必要があります。

* API は、業務時間中に使用される場合、本番環境への影響を最小限に抑える必要があります。

* API は Get 操作のみをサポートする必要があります。

Business Central の ISSUE BASE 拡張機能のユーザーが問題を報告します。

この問題をデバッグするために、次の構成のスナップショット デバッグが有効化されました。

```

"configurations": [
  {
    "name": "snapshotInitialize: Microsoft production cloud",
    "type": "al",
    "request": "snapshotInitialize",
    "environmentType": "Production",
    "environmentName": "production",
    "breakOnNext": "WebClient",
    "executionContext": "DebugAndProfile",
    "userId": "YOURUSERNAME"
  }
]

```

デバッグがトリガーされていないことがわかります。

Contoso, Ltd. は、ビジネス パートナーが提供する外部 API に Business Central を接続する必要があります。これは、パートナーが販売需要を満たすために新しい下請け注文の詳細を送信したり、送信された各注文の予定リリース日を受信したりするために使用されます。統合の要件は次のとおりです。

- * ビジネス パートナーは、基本認証で保護された REST API を提供します。API にアクセスするための資格情報は Contoso 社と共有されます。
- * 下請け注文を送信するための API は、指定されたエンドポイントに認証された POST リクエストを送信して呼び出す必要があります。
- * 各下請け注文の注文番号と予定リリース日を取得するための API は、次の JSON で応答します。

```

{
  "status": "OK",
  "num_results": 110,
  "results": [
    {
      "order_no": "SB0230034",
      "customer_name": "Contoso Ltd.",
      "planned_release_date": "2023-12-13",
      "updated_date": "2023-10-20"
    }
  ]
}

```

各注文番号を取得する必要があります。

最新問題: 35

ホットスポットに関する質問

ある会社では Business Central を使用しています。この会社にはさまざまな都市に支店があります。

作業員から、毎日の概要レポートを生成するたびに、権限がないというエラー メッセージが表示されるという報告がありました。

```

15 local procedure GetLogisticCharge() LogisticsCharge: Decimal;
16 var
17     LogisticsSetup: Record "Logistics Setup";
18 begin
19     LogisticsSetup.Get();
20     LogisticsCharge := LogisticsSetup."Logistics Charge";
21 end;

```

問題を解決する必要があります。

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択してください。そうでない場合は「いいえ」を選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Method attributes

Statement	Yes	No
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::Table, Database::"Logistics Setup", 'x', InherentPermissionsScope::Both)] above line 15.	☐	☐
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::TableData, Database::"Logistics Setup", 'R', InherentPermissionsScope::Permissions)] above line 15.	☐	☐
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::TableData, Database::"Logistics Setup", 'r', InherentPermissionsScope::Both)] above line 15.	☐	☐
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::Table, Database::"Logistics Setup", 'X', InherentPermissionsScope::Permissions)] above line 15.	☐	☐

Answer:

Method attributes

Statement	Yes	No
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::Table, Database::"Logistics Setup", 'x', InherentPermissionsScope::Both)] above line 15.	☐	☒
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::TableData, Database::"Logistics Setup", 'R', InherentPermissionsScope::Permissions)] above line 15.	☒	☐
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::TableData, Database::"Logistics Setup", 'r', InherentPermissionsScope::Both)] above line 15.	☒	☐
Configure [InherentPermissions(PermissionObjectType::Table, Database::"Logistics Setup", 'X', InherentPermissionsScope::Permissions)] above line 15.	☐	☒

最新問題: 36

Business Central レポートを作成します。

次回レポートを実行するときに保存するには、リクエスト ページに値を入力する必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. SaveValues プロパティを true に設定します。
- B. Savevalues 変数を宣言し、OnOpenPage() トリガーで true に割り当てます。
- C. Transact! on Type プロパティを Update に設定します。
- D. リクエスト ページの使用プロパティを true に設定します。

Answer: A ([メッセージを残す](#))

Business Central レポートの [要求] ページで挿入された値が、次回レポートを実行するときに保存されるようにするには、SaveValues プロパティ (D) を true に設定する必要があります。このプロパティはレポートの [要求] ページで使用可能で、true に設定すると、システムがユーザーが入力した値を記憶できるため、レポートを実行するたびに値を再入力する必要がなくなります。この機能により、繰り返しのデータ入力が減り、複数の実行にわたってレポート パラメーターの一貫性が確保されるため、ユーザー エクスペリエンスが向上します。トランザクション タイプ プロパティを更新に設定する (A) や、OnOpenPage トリガーで Savevalues 変数を宣言する (B) など他のオプションは、レポートの [要求] ページでのユーザー入力の保存とは直接関係ありません。

最新問題: 37

ある企業が Business Central を導入しています。

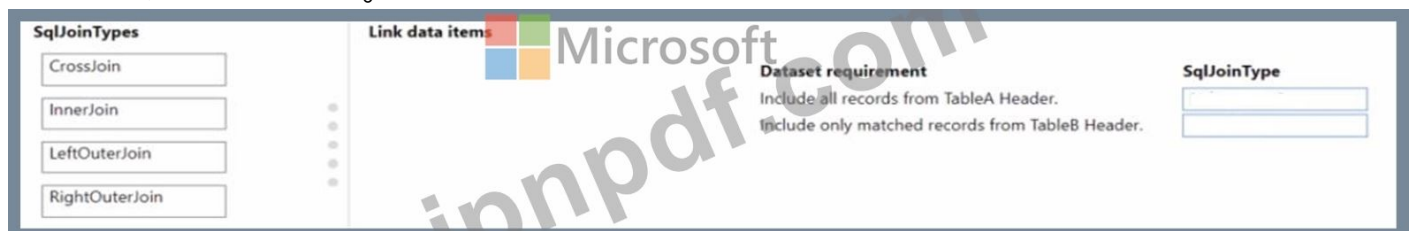
テナントごとの拡張では、TableA ヘッダーと TableA 行はドキュメント テーブルであり、TableB ヘッダーと TableB 行はドキュメント履歴テーブルです。

会社では、クエリ オブジェクトの結果のデータセットに次のレコードが含まれていることを要求しています。

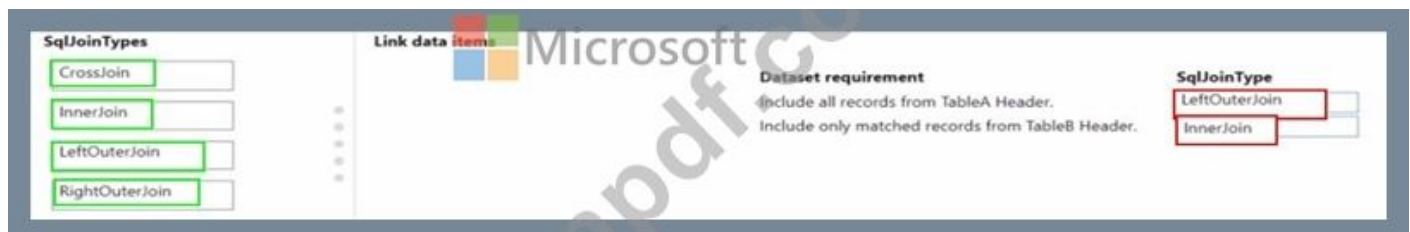
* リンクされたTableA行に一致するレコード値が存在しない場合でも、TableAヘッダーのすべてのレコード

* リンクされた TableB 行フィールドに一致が見つかった TableB ヘッダーからのレコード。必要なデータセットを生成するには、リンクされたデータ項目を構成する必要があります。

どの SqlJoinType を使用すればよいでしょうか。答えるには、適切な SqlJoinType を正しいデータセット要件に移動します。各 SqlJoinType は 1 回、複数回、またはまったく使用しないこともできます。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーを移動したり、スクロールしたりする必要があります。



Answer:



最新問題: 38

下請け業者の REST API を呼び出すコードを記述する必要があります。

コード セグメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

REST services

```
procedure CallSubcontractorAPI (Url: Text[2048]; Username: Text[100]; Password: Text[100]; Body: Text)
var
    httpClient: HttpClient;
    ResponseMessage: HttpResponseMessage;
    RequestHeaders, ContentHeaders: HttpHeaders;
    httpContent: HttpContent;
    Base64Convert: Codeunit "Base64 Convert";
    Response: Text;
begin
    RequestHeaders := httpClient.DefaultRequestHeaders();
    RequestHeaders.Add(
        'Authentication'
        'Authorization'
        'Authorization'
        'Authentication'
        'Credentials'
        'Basic'
        Base64Convert.FromBase64(Username + ':' + Password)
        Base64Convert.ToBase64(Username + ':' + Password)
        Base64Convert.ToBase64(Username) + Base64Convert.ToBase64>Password)
        Username + ':' + Password
    );

    httpContent.GetHeaders(ContentHeaders);
    ContentHeaders.Remove('Content-Type');
    ContentHeaders.Add('Content-Type', 'application/json');
    if
        httpClient.Post(Uri, httpContent)
        httpClient.Post(Uri, httpContent, Response)
        httpClient.Post(Uri, httpContent, ResponseMessage)
        httpClient.Send(Uri, httpContent, ResponseMessage)
    then
        httpContent := Body
        httpContent.Clear()
        httpContent.WriteFrom(Body)
```

Answer:

REST services

```
procedure CallSubcontractorAPI (Url: Text[2048]; Username: Text[100]; Password: Text[100]; Body: Text)
var
    httpClient: HttpClient;
    ResponseMessage: HttpResponseMessage;
    RequestHeaders, ContentHeaders: HttpHeaders;
    httpContent: HttpContent;
    Base64Convert: Codeunit "Base64 Convert";
    Response: Text;
begin
    RequestHeaders := httpClient.DefaultRequestHeaders();
    RequestHeaders.Add(
        'Authentication'
        'Authorization'
        'Authorization'
        'Authentication'
        'Credentials'
        'Basic'
        Base64Convert.FromBase64(Username + ':' + Password)
        Base64Convert.ToBase64(Username + ':' + Password)
        Base64Convert.ToBase64(Username) + Base64Convert.ToBase64>Password)
        Username + ':' + Password
    );

    httpContent.GetHeaders(ContentHeaders);
    ContentHeaders.Remove('Content-Type');
    ContentHeaders.Add('Content-Type', 'application/json');
    if
        httpClient.Post(Uri, httpContent)
        httpClient.Post(Uri, httpContent, Response)
        httpClient.Post(Uri, httpContent, ResponseMessage)
        httpClient.Send(Uri, httpContent, ResponseMessage)
    then
        httpContent := Body
        httpContent.Clear()
        httpContent.WriteFrom(Body)
```

最新問題: 39

テストアプリケーションを開発します。

以下の要件を満たす必要があります:

- * 実行後にテスト メソッドへの変更をロールバックします。
 - * TestPageA という名前のテスト ページで承認アクションを実行します。
- テストコードユニットに指定された要件を実装する必要があります

どのようなアクションを実行する必要がありますか？ 回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択します。注: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Test applications

Requirement

Roll back changes to a test method after run time.

Run an approve action on TestPageA.

Action

Set the CommitBehavior attribute to Ignore.
Set the ErrorBehavior attribute to Collect.
Set the TestIsolation property to Function.
Set the TransactionModel attribute to AutoRollBack.

Configure TestPageA.Approve.Enabled().
Configure TestPageA.Approve.Invoke().
Configure TestPageA.Approve.Visible().
Configure TestPageA.Trap().

Answer:

Test applications

Requirement
Roll back changes to a test method after run time.

Run an approve action on TestPageA.

Action

Set the CommitBehavior attribute to Ignore.
Set the ErrorBehavior attribute to Collect.
Set the TestIsolation property to Function.
Set the TransactionModel attribute to AutoRollBack.

Configure TestPageA.Approve.Enabled().
Configure TestPageA.Approve.Invoke().
Configure TestPageA.Approve.Visible().
Configure TestPageA.Trap().

最新問題: 40

デバッガーが正しく起動しない理由を特定する必要があります。

問題の原因は何ですか？

- A. 'userId'パラメータには、ユーザー名ではなく、ユーザーの GUID を指定する必要があります。
- B. 'breakOnNext'パラメータが 'WebServiceClient' に設定されていません。
- C. 'userId'パラメータが指定され、'breakOnNext'パラメータで指定された次のユーザー セッションがスナップショット デバッグされます。
- D. 'ExecutionContext*' パラメータが 'Debug' に設定されていません。

Answer: [解答を表示する](#)

Microsoft Dynamics 365 Business Central では、スナップショット デバッグを構成するときに、構成ファイル内のパラメーターが正しく設定されていることが重要です。提供されているオプションから判断すると、デバッガーが正しく起動しない問題は、おそらく 'userId'パラメーターが正しくないことが原因です。

オプション A が問題の原因です。'userId'パラメータはユーザー名ではなく、ユーザーの GUID である必要があります。スナップショット デバッガーは、デバッグのために適切なセッションに接続するために正確な GUID を必要とします。

オプション B は正しくありません。'breakOnNext'を 'WebClient' に設定するのは有効な設定です。これは、デバッガーに Web クライアントの次のクライアント アクションで中断するように指示します。これは一般的なシナリオです。

オプション C は問題の原因ではありません。「userId」パラメータはデバッグするユーザー セッションを指定するためのもので、breakOnNext」パラメータと連動して機能します。

オプション D は正しくありません。スナップショット デバッグを機能させるためには、ExecutionContext」パラメータを Debug」に設定する必要がないためです。DebugAndProfile」は ExecutionContext」パラメータの有効な値であり、これによりデバッグとパフォーマンス情報の収集が可能になります。

したがって、デバッガーが正しく起動しない理由はオプション A にあります。つまり、「userId」パラメータにはユーザー名ではなく、ユーザーの GUID を指定する必要があります。

最新問題: 41

ソース コードを表示するには、拡張機能でデバッグを許可する必要があります。allowDebugging プロパティの値は

どのファイルで指定する必要がありますか？

- A. 設定.json
- B. rad.json
- C. app.json
- D. launch.json

Answer: C ([メッセージを残す](#))

拡張機能のデバッグを有効にしてソース コードを表示できるようにするには、app.json ファイル (C) で allowDebugging プロパティを指定する必要があります。app.json ファイルは、Microsoft Dynamics 365 Business Central の AL プロジェクトのマニフェストとして機能し、プロジェクトのプロパティ、依存関係、および機能を定義します。このファイルで allowDebugging プロパティを true に設定することで、開発者は拡張機能のソース コードのデバッグを有効にし、トラブルシューティングと開発を容易にすることができます。これは、拡張機能の動作を分析し、開発プロセス中に問題を特定するために不可欠です。

最新問題: 42

ホットスポットに関する質問

アイテム リストの XML ファイル サンプルは次のとおりです。

```
<Items>
  <Item No="1000">
    <Description>Table</Description>
  </Item>
  <Item No="1001">
    <Description>Chair</Description>
  </Item>
  <Item No="1002">
    <Description>Sofa</Description>
  </Item>
</Items>
```

XMLport オブジェクトを使用して次の XML ファイルを作成する予定です。

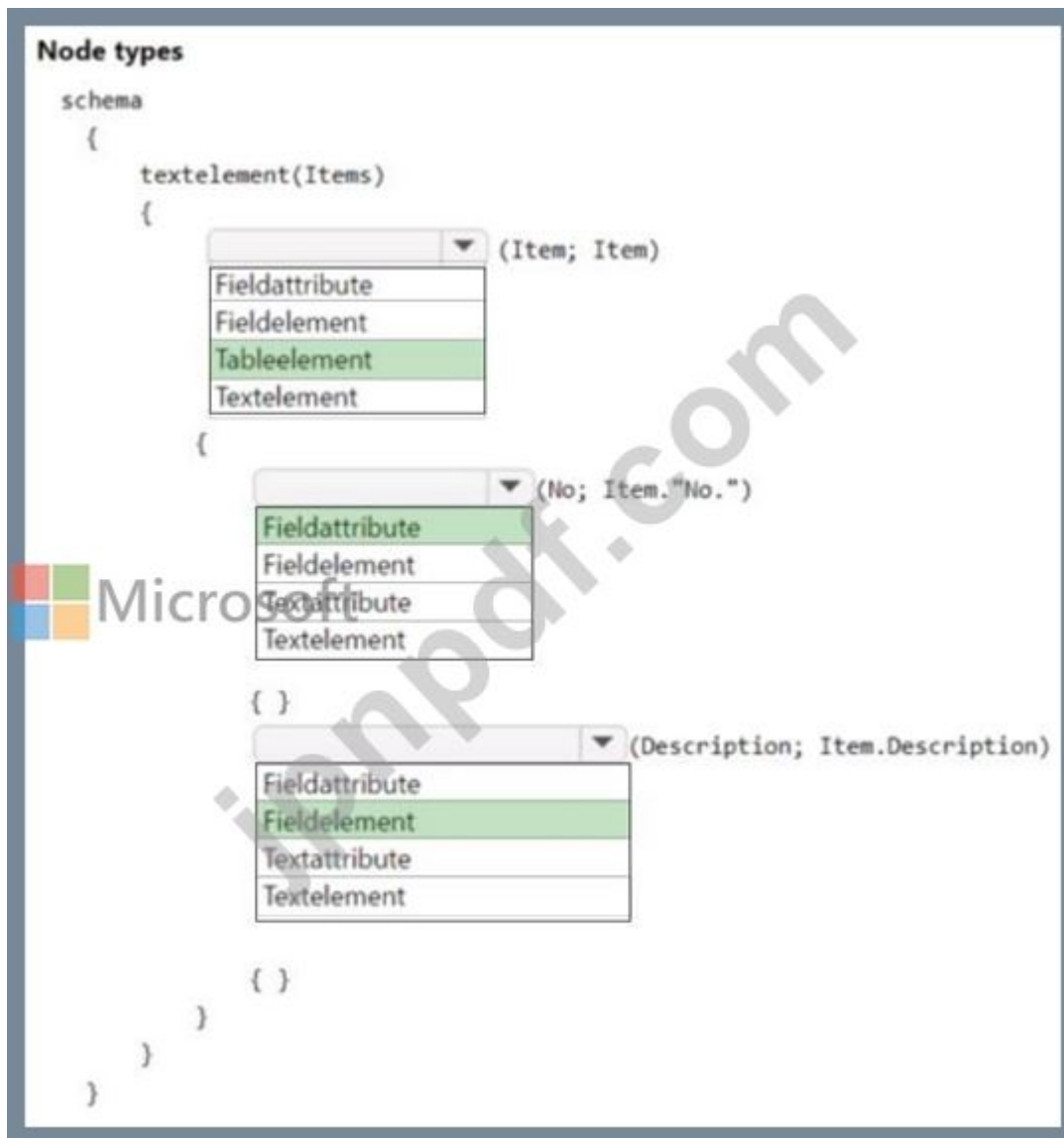
必要な形式でファイルをエクスポートするには、コード セグメントを完了する必要があります。

コードセグメントをどのように完了する必要がありますか？ 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

code types

```
schema
{
  textelement(Items)
  {
    (Item; Item)
    Fieldattribute
    Fieldelement
    Tableelement
    Textelement
  }
  (No; Item, "No.")
  Fieldattribute
  Fieldelement
  Textattribute
  Textelement
  { }
  (Description; Item.Description
  Fieldattribute
  Fieldelement
  Textattribute
  Textelement
  { }
  { }
}
```

Answer:



最新問題: 43

ケーススタディ 2 - アルペンスキーハウス

会社概要

アルペンスキーハウスは、ホテル、レストラン、店舗を所有・運営する会社です。

現在、当社では以下のソフトウェアとインターフェースを使用しています。

- ホテルの客室を管理するためのプロパティ管理ソフトウェア (PMS)
- 売上請求書を生成し、発注書を作成するオンプレミス会計ソフトウェア
- レストランや店舗が必要な情報を取得できるようにする API レストランや店舗では、POS (販売時点管理) デバイス用のスタンドアロン ソフトウェアを使用しています。毎日、POS 端末は販売データのテキスト ファイルを生成し、そのファイルをサーバー フォルダーに保存します。アカウント アシスタントは、システムで処理できるように、そのファイルを現在のソフトウェア テーブルに手動でインポートする必要があります。

ゼネラルマネージャーは、部門マネージャーから毎月数件のレポートを受け取りますが、レポートの作成には時間がかかりすぎます。

計画された改善

同社は、会社全体を管理するために、別のシステムから Business Central Online に移行しています。

同社は、API を使用してさまざまなシステム間で情報を取得または共有することで、各部門の効率を向上させることを計画しています。

購買に関わる各部門は、購買リクエストを自動的かつ簡単に行える必要があります。各部門は ERP 管理システム全体にアクセスする必要はありません。

技術仕様

アルペンスキーハウスでは、計画されている改良のためにいくつかの拡張部分の開発が必要です。

すべての拡張機能を開発するには、Business Central 設計パターンを使用する必要があります。

アルペンスキーハウスは次のページを開発する必要があります。

- 拡張機能を初めてインストールするときに必要な情報を提供するために、ウィザードのような複数のステップのダイアログで複数の構成を提供するページ

- 関連情報と追加情報を含むページを表示する部門固有のロール センター ページ IT 部門

は、Power BI を使用して部門情報を分析する予定です。最適なパフォーマンスを提供するようにデータベースを構成する必要があります。

部門固有の要件

ハウスキーピング部門

ハウスキーピング部門では、効率を高め、データ入力エラーを回避するために、次のことが必要です。

- Business Centralオンラインの関連領域へのナビゲーションを最小限に抑え、関連情報を表示するハウスキーピングロールセンター

- ルームエンティティに関する追加情報を表示するために新しいルームページに埋め込むページ

- ハウスキーピングチームが客室の問題情報を入力するための「客室インシデント」というテーブル

- 拡張機能に接続するハウスキーピングキャンバスアプリ

- 部門では、RoomsAPI という新しい API ページを備えた拡張機能の開発が必要です。

- ハウスキーピング チームは RoomsAPI を使用して、部屋の詳細を公開したり、作業完了時に更新したり、キャンバス アプリから修理通知を提供したりします。

- このカスタム API ページは、Rooms という名前のカスタム テーブルを公開し、ID を 50000 にする必要があります。テーブルは PMS から更新できる必要があります。- PMS チームは、カスタム API に接続するためのエンドポイントを認識している必要があります。

- 開発者は API ページに次の詳細を提供します。

```
APIPublisher = 'alpine';
APIGroup = 'integration';
APIVersion = 'v2.0';
EntityName = 'room';
EntitySetName = 'rooms';
```

- 拡張機能は Business Central オンラインで公開する必要がある、すべてのホテルの部屋を含む「部屋リスト」という名前のリスト ページを含める必要があります。
 - この拡張機能のインストールまたは更新は、次の要件を満たす必要があります。
 - o 一部の Web サービスは自動的に公開する必要があります。
 - o 指定されたアプリケーションのメタデータのバージョンは、AL 言語で取得する必要があります。
 - o タスクを実行するために必要なコードは、アプリケーションの他の部分からアクセスできません。
 - o 部屋のインシデント テーブル情報には、次のフィールドが含まれている必要があります。
 - o インシデントエントリ: 増分番号
 - o 部屋番号: 部屋表の部屋
 - o 事故発生日: 作業日
 - ルームインシデントテーブルのテーブル定義では、ハウスキーピングチームが新しいレコードを挿入したときにインシデント日付が自動入力される必要があります。
 - インシデントの日付の値は、Business Central オンライン クライアントで構成された作業日である必要があります。
 - ステータス: インシデントのステータスを識別するための次のオプションが含まれます。
 - o オープン: ルームインシデントが作成されたとき
 - o 進行中: 誰かが修理作業を開始したとき
 - o クローズ: インシデントが解決されたとき
 - インシデント終了日: 自動更新フィールド (ステータスが「終了」になると、フィールドは作業日で更新されます)
 - インシデントの説明: テキスト
 - 画像: メディアデータタイプ
 - o 保存された画像はメニューアクションからダウンロード可能である必要があります。
 - o ダウンロード アクションを含むルーム インシデント ページを開発する必要があります。
- 部門固有の要件
- レストランとショップ
- 効率を高めるには、新しいシステムでは、POS 端末の API を使用して、レストランや店舗から生成されたデータを直接管理する必要があります。
- 会社では、POS 端末 API から情報を読み取るために、ジョブ キューから呼び出されるコードユニットが必要です。
- POS 端末情報は POS 情報というテーブルに保存され、ID を持つ必要があります。
- 50100、ページ上で編集可能。
- アカウント マネージャーには、プロセスを手動で実行するためのオプションがページのメニューに必要です。
- POS 端末から受信した情報を分析するには、次のものがが必要です。
- 情報を Power BI にエクスポートするための ticket API というカスタム API
 - データベースのパフォーマンスを向上させるための読み取りスケールアウト機能の使用
- 部門固有の要件

購買部門と不適合処理

購買部門では、仕入先から受け取った商品の不適合を記録するために、Business Central オンラインで新しいエンティティが必要です。エンティティは次のように設定する必要があります。

- 不適合エンティティには 2 つのテーブルが必要です。

共通情報を含む oa ヘッダー

o 不適合な受領品目の詳細が記載された 1 行以上の行

- エンティティには、情報を保存するために、「不適合」という名前のページと「不適合行」という名前のサブページが必要です。

- 数量の誤りや品質の問題のある発注書を受け取った場合、企業はシステム内に不適合文書を作成する必要があります。文書には次の情報を含める必要があります。

- 不適合番号: このフィールドを管理し、次の機能を使用するには、Business Central オンラインの番号シリーズ テーブルを使用する必要があります。

o 英数字の値

o 番号の一部として「NC」と年を含む数値形式。例: NC24-001

- 不適合日: 作成日のみ保存

- ベンダー番号: 商品を発送したベンダーの番号を保存します。会社のベンダーのみを含める必要があります。

- オーナー: 会社で定義された従業員のコード

- 受領番号: 以下の条件を満たす必要があります。

o 既存の領収書番号であること

o ベンダー番号フィールドに示されているベンダーから受け取る

o コメント: 品質の問題を説明するために、リッチテキストと画像を含むコメントを含めることができます。o ステータス: 次のような不適合ステータスが含まれます。

o 開く

o 通知済み

o 閉鎖

- 行には次の詳細が含まれている必要があります。

o 商品番号: 受領した商品（既存の在庫商品のみ）

o 説明: アイテムの説明

o 数量: 不適合数量

o 不適合タイプ:

品質

量

配送日

不適合のシリアル番号と、不適合を作成できる期間は、ユーザーが変更できるように、構成テーブルと対応するページに記載されている必要があります。

ホットスポットに関する質問

不適合ページのコメント フィールドのプロパティを定義する必要があります。

コード セグメントをどのように完了する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

ExtendedDataType property

```
group(commentsGroup)
{
    field("comments"; NonConformityComments)
    {
        ApplicationArea = All;
        MultiLine = True;
        MultiLine = False;
        NotBlank= True;
        NotBlank= False;
        DataType
        ExtendDataType
        ExtendedDatatype
        RichDataType
    }
}
```

```
var
    NonConformityComments: Text;
```

The image shows a screenshot of a software interface for configuring an 'ExtendedDataType' property. The main code area displays a 'group(commentsGroup)' block containing a 'field("comments"; NonConformityComments)' block. Inside the field block, 'ApplicationArea' is set to 'All'. There are two dropdown menus: one for 'MultiLine' (with options 'True' and 'False') and one for 'NotBlank' (with options 'True' and 'False'). Below these, there are two more dropdown menus. The first dropdown menu is for 'DataType' and has four options: 'DataType', 'ExtendDataType', 'ExtendedDatatype', and 'RichDataType'. The second dropdown menu is for 'ExtendedDataType' and has four options: 'LongContent', 'None', 'RichContent', and 'TextRichContent'. The 'ExtendedDataType' dropdown menu is currently selected, and its value is 'TextRichContent'. The 'var' section at the bottom shows 'NonConformityComments: Text;'.

Answer:

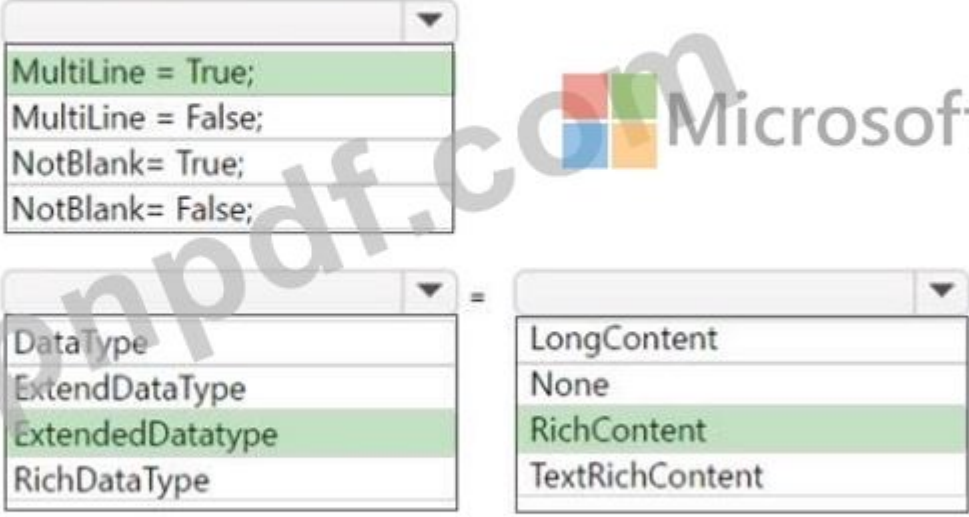
ExtendedDataType property

```
group(commentsGroup)
{
    field("comments"; NonConformityComments)
    {
        ApplicationArea = All;

        MultiLine = True;
        MultiLine = False;
        NotBlank = True;
        NotBlank = False;

        DataType
        ExtendDataType
        ExtendedDatatype
        RichDataType
    } = LongContent
        None
        RichContent
        TextRichContent
    ;
}

var
    NonConformityComments: Text;
```



最新問題: 44

ケーススタディ 1 - Contoso 社

背景

Contoso 社は製造業の販売会社です。複数の国/地域に子会社があり、それぞれが独自のローカライズを行っています。子会社は互いにデータ独立している必要があります。Contoso 社は、外部のビジネス パートナーを利用して、一部の製造品目の下請けを管理しています。Contoso 社にはさまざまな部門があり、部門間でデータ セキュリティが必要です。

現在の環境

Contoso 社では、財務、販売、購買、倉庫、製造プロセスの主要な ERP として Business Central online を使用しています。同社には、Business Central Web アプリケーションと外部アプリケーションを使用する従業員がいます。同社では、カスタムの外部モバイル アプリを開発中です。IT 部門とそのパートナーは、機能がネイティブで利用できない会社の要件を満たすためにカスタム拡張機能をインストールしました。

Contoso, Ltd. は、顧客やパートナーが提供する外部サービスとやり取りします。さまざまなアプリケーションが、Business Central から公開される SOAP および OData エンドポイントとやり取りします。

Contoso 社の外部ビジネス パートナーは、新しい下請け注文の詳細を受信し、受信した各下請け注文の予定リリース日を送信するための REST API を公開しました。

Contoso, Ltd. はテナントの監視を有効化しておらず、アプリの内部テレメトリがありません。さまざまな部門の要件を満たすためにカスタム レポートを作成する必要があります。

テナント管理

Contoso, Ltd. には、次のテナント管理の考慮事項があります。

IT部門

IT 部門には、パフォーマンスの問題を防ぎ、起こりうる異常を検出するためにテナントを監視する機能が必要です。

IT 部門は、Azure Application Insights と Log Analytics を使用して、取り込まれたテレメトリ信号を検査する予定です。

すべてのテナントのアップグレードは、Microsoft によって自動的に処理されます。IT 部門は、更新プログラムの可用性やテナント関連の通知をチェックしません。

IT 部門は、Business Central 管理センターからのテナント関連通知の受信を構成していません。

外部ビジネスパートナー

外部ビジネス パートナーは、ビジネス プロセスを監視するために、Contoso, Ltd. 用に作成されたアプリケーションにカスタム テレメトリを追加する必要があります。

アプリケーションのカスタム テレメトリ信号は、パートナーのテレメトリでのみ表示される必要があります。

石鹼

Contoso 社は、統合に SOAP プロトコルを使用しないことを計画しています。

Contoso 社は、外部アプリケーションが Business Central SOAP エンドポイントを使用しているかどうかを検出する必要があります。

問題

Business Central テナントは、夜間に Microsoft によって新しいメジャー バージョンにアップグレードされます。

ユーザーから、Contoso, Ltd. の拡張機能の 1 つがテナントから消えたという報告がありました。IT 部門は、拡張機能がまだ公開されていることを確認しました。

カスタムモバイルアプリケーションの要件

Contoso 社は、次の要件を満たすカスタム モバイル アプリケーションを作成する予定です。

従業員は、ERP からアイテムの詳細をリアルタイムで確認し、製造プロセス中に発生した問題を報告するために、このアプリを使用する必要があります。

アーカイブされた問題を処理するには、AL 拡張機能を作成する必要があります。

モジュールを実装するときは、Business Central 開発ガイドラインに従う必要があります。

問題情報の報告と追跡を行うためのモジュールを実装する必要があります。このモジュールを Issue Management と呼ぶことにします。モジュールは PostIssue というメソッドを公開する必要があります。

時間の経過とともにコードの変更が必要になります。

問題管理プロセスは、次の 2 つの拡張機能に分割する必要があります。

問題ベース: メイン拡張

ISSUE EXT: ISSUE BASE からの依存関係を持つ 2 番目の拡張

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、IssueTotal という名前のグローバル Decimal 変数を含む Issue テーブルを作成する予定です。

ISSUE BASE 拡張機能のバージョン 1.0.0.0 では、次のように定義された説明フィールドを持つ Issue Category という名前のテーブルを定義する予定です。

```
field(2; Description; Text[50])
{
    DataClassification = CustomerContent;
}
```

ISSUE BASE 拡張機能で定義された Issue テーブルには、次のように定義された Clone プロシージャが含まれています。

```
procedure Clone()
begin
end;
```

ISSUE EXT 拡張では、Issue テーブルの tableextension オブジェクトを作成します。

Issue テーブルの tableextension オブジェクトは、IssueTotal: Decimal 変数にアクセスする必要があります。

数週間使用した後、説明フィールドとクローン手順は不要になったため削除する必要があることがわかりました。

ISSUE BASE 拡張機能の新しいバージョンでは、新しい Issue Type テーブルを作成します。以前の古い Issue Category テーブルから新しい Issue Type テーブルにデータを 1 行ずつ移動する必要があります。大量のデータを移動する必要があるため、DataTransfer オブジェクトを使用して Upgrade コードユニットを記述する必要があります。

IT 部門は、カスタムの問題テーブルを公開するためのカスタム API を作成します。API は、問題を新しいテーブルにコピーするためのアクションを提供します。アクションは次のように定義されます。

```
[ServiceEnabled]
procedure Copy(var actionContext: WebserviceActionContext)
begin
end;
```

Contoso, Ltd. は、アイテムの詳細をモバイル アプリケーションに公開するために、Business Central で API を作成する必要があります。

API は、業務時間中に使用される場合、本番環境への影響を最小限に抑える必要があります。

API は Get 操作のみをサポートする必要があります。

問題のデバッグ

Business Central の ISSUE BASE 拡張機能のユーザーが問題を報告します。

この問題をデバッグするために、次の構成のスナップショット デバッグが有効化されました。



```
"configurations": [
  {
    "name": "snapshotInitialize: Microsoft production cloud",
    "type": "al",
    "request": "snapshotInitialize",
    "environmentType": "Production",
    "environmentName": "production",
    "breakOnNext": "WebClient",
    "executionContext": "DebugAndProfile",
    "userId": "YOURUSERNAME"
  }
]
```

デバッグがトリガーされていないことがわかります。

下請け業務におけるビジネスパートナーとの統合

Contoso, Ltd. は、ビジネス パートナーが提供する外部 API に Business Central を接続する必要があります。これは、パートナーが販売需要を満たすために新しい下請け注文の詳細を送信したり、送信された各注文の予定リリース日を受信したりするために使用されます。統合の要件は次のとおりです。

ビジネス パートナーは、基本認証で保護された REST API を提供します。API にアクセスするための資格情報は Contoso, Ltd. と共有されます。

下請け注文を送信するための API は、指定されたエンドポイントに認証された POST リクエストを送信することによって呼び出す必要があります。

各下請け注文の注文番号と予定リリース日を取得するための API は、次の JSON で応答します。



```
{
  "status": "OK",
  "num_results": 110,
  "results": [
    {
      "order_no": "SB0230034",
      "customer_name": "Contoso Ltd.",
      "planned_release_date": "2023-12-13",
      "updated_date": "2023-10-20"
    }
  ]
}
```

各注文番号を取得する必要があります。

拡張機能がテナントに表示されない理由を特定する必要があります。

消失の理由として考えられる 2 つのことは何ですか? それぞれの正解は完全な解決策を示しています。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

- A. 拡張機能は DEV 拡張機能として公開されました。
- B. 拡張機能は、最初の通知から 60 日以内に新しいバージョンと互換性がありませんでした。
- C. 拡張機能は PTE として公開され、app.json ファイル内の Platform パラメーターが更新されませんでした。
- D. 拡張機能は PTE として公開され、app.json ファイル内のプラットフォームおよびランタイムパラメーターが更新されませんでした。
- E. 拡張機能は、最初の通知から 90 日以内に新しいバージョンと互換性がありませんでした。

Answer: ([解答を表示する](#))

Microsoft Dynamics 365 Business Central のコンテキストでは、特に新しいメジャーバージョンにアップグレードした後、いくつかの理由により拡張機能がテナントに表示されない場合があります。

オプション B は、最初の通知から 60 日以内に拡張機能が新しいバージョンと互換性がなかったことを示します。Microsoft は互換性ルールを強制しており、指定された期間内に互換性が確保されない拡張機能は削除または無効化される可能性があるため、これが理由であると考えられます。

オプション D はオプション C を拡張したもので、アプリケーション ファイルでプラットフォームパラメーターとランタイムパラメーターの両方が更新されなかったことが追加されます。これらのパラメーターが Business Central の新しいバージョンとの互換性を示すように正しく設定されていない場合、拡張機能が無効化または削除される可能性があるため、これは重要な側面です。

Valid MB-820 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing MB-820 Exam!

GoShiken.com now offer the **newest MB-820 exam dumps**, the GoShiken.com MB-820 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest**

GoShiken.com MB-820 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Microsoft/MB-820-mondaishu.html> (120 Q&As Dumps, **30%OFF**

Special Discount: Freepdfdumps)